



おにぎり大使派遣事業

研修報告書

2015



In Australia

おにぎり魂

～刻め 我らの最高の軌跡を～

石巻地区広域行政事務組合



目 次

発行にあたって	・ ・ ・ ・ ・	P 1
研修日程	・ ・ ・ ・ ・	P 2 ~ P 3
団員・引率者感想文	・ ・ ・ ・ ・	P 4 ~ P 45
現地研修風景	・ ・ ・ ・ ・	P 46 ~ P 47
研修報告	・ ・ ・ ・ ・	P 48
団員・引率者名簿	・ ・ ・ ・ ・	P 49

発刊にあたって

石巻地区広域行政事務組合

理事長 石巻市長 亀山

紘



当組合では、石巻圏域の将来を担う青少年の人材育成を目的に、平成三年度から「石巻地域ふるさと市町村圏基金」の利子を活用して「青少年海外派遣事業」を実施してまいりました。平成九年度からは、この事業の名称を現在の「おにぎり大使派遣事業」と改め、これまでに六百六十六人の中学生がこの事業に参加して、現在各方面ですばらしい活躍をしております。

この事業の目的は、学校訪問やホームステイを通して外国の生活・文化に直接に触れることや、現地に石巻圏域の主要産品である「米」と「海苔」を持参して「おにぎり」を作り、日本の食文化の一つとして紹介することであり、「おにぎり大使」の名称はここから生まれたものです。

本年度の派遣団は、石巻圏域内の中学校二十三校から三十二人の団員及び団長を含む引率者六人の三十八人編成とし、研修日程は、七月二十九日から八月四日までの六泊七日で、研修地をオーストラリアのシドニーとしました。

オーストラリアは南半球にあり、二百以上の異なる民族が混在している多民族国家です。団員たちがシドニーを訪れたとき季節は冬でしたが、日中は二十度前後まで気温が上がり過ごしやすい気候であることや、日本との時差がわずか一時間であること、そして比較的治安が良いということから、研修地として最適だったと思います。

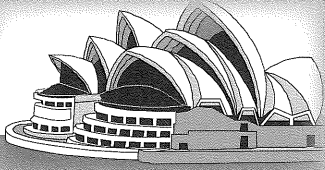
団員のみなさんはシドニーで大変貴重な経験をされ、「おにぎり大使派遣事業」の所期の目的を立派に達成したと思います。この研修の成果を今後の人生に活かし、石巻圏域の将来を担う人材に育ってくれるものと期待しております。

最後になりましたが、本事業の実施にあたり、御支援、御協力を賜りました教育機関、いしのみき農協及び宮城県漁連石巻総合支所などの関係機関、また、御指導をいただきました引率の先生方並びに保護者の方々に対し厚く御礼を申し上げます、発刊のあいさつといたします。

平成27年度おにぎり大使派遣団



おにぎり大使 派遣事業



▲出発式 蜂谷優友さんの団員あいさつ



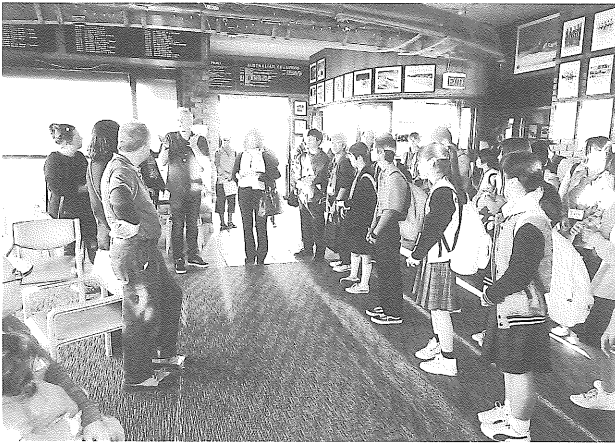
▲出発前 成田空港にて



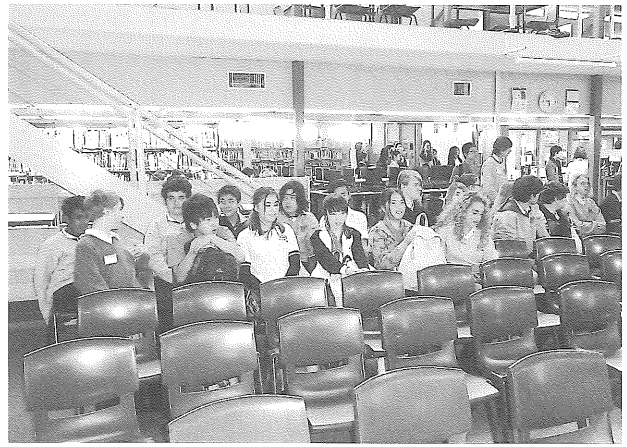
▲シドニー市内見学風景

研修日程

日程	時間	研修内容
7月29日 (水)	8:30	出発式 (石巻地区広域行政事務組合)
	16:30	成田空港到着
	20:30	成田空港出発 カンタス航空でシドニーへ!
7月30日 (木)	7:05	シドニー空港到着
	9:00	シドニー市内見学 ボンダイビーチ、ミセスマッコリーズポイント、オペラハウスなど
	17:00	ホテル滞在
7月31日 (金)	9:30	学校訪問 DULWICH HIGH SCHOOL 文化交流・スポーツ交流など
	15:40	ホストファミリーと対面
	16:00	ホームステイ開始
8月1日 (土)	終日	ホームステイ 32名の団員が15の家庭にホームステイしました。
8月2日 (日)	終日	ホームステイ
	夕刻	さよならパーティー
	19:30	ホストファミリーとお別れ
8月3日 (月)	9:30	シドニー市内見学 シドニータワー、タロンガ動物園など
	18:30	シドニー空港到着
	20:30	シドニー空港出発
8月4日 (火)	5:00	羽田空港到着
	15:00	石巻到着(帰着式) (石巻地区広域行政事務組合)



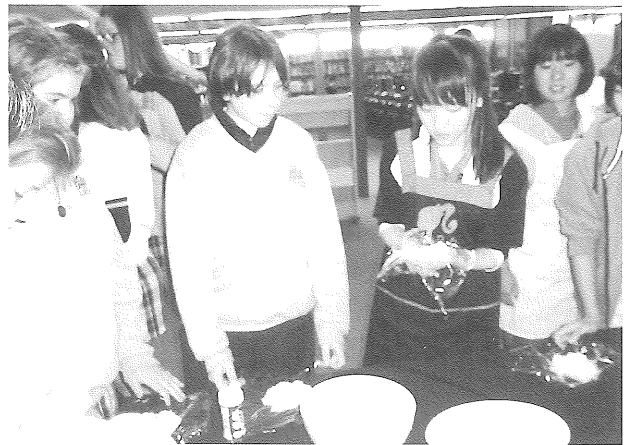
▲ホストファミリーと対面



▲学校訪問 (バディと対面)



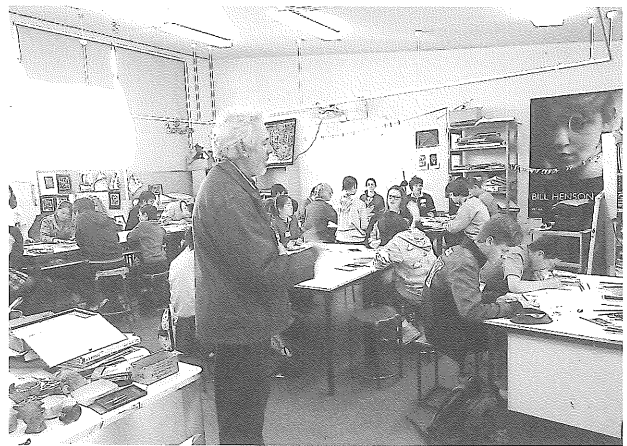
▲ホームステイ (おにぎり作り)



▲学校訪問文化交流 (おにぎり作り)



▲ホームステイ(ホストファミリーと)



▲学校訪問 (美術の授業を体験)



▲さよならパーティー



▲学校訪問 (南中ソーランを披露)

「おにぎり大使 派遣事業に思うこと」



広域行政・事務局次長
団長 **渡辺 文男**

おにぎり大使派遣事業は、石巻管内二十四校の中学三年生の中から学校単位で希望者を対象に作文及び面接を行うなどして各市町教育委員会から事業主体である石巻地区広域行政事務組合に推薦されるものです。

本年度も、国際交流に関心があり英語圏でのホームステイを希望する三十二名の元気のよい中学三年生が選出されてまいりました。また、引率する先生方も河北中学校の平塚輝先生をはじめとする四名の引率者が決定しました。

この研修では、七回の引率者会議として団員の四回の事前研修会、一回の事後研修会があり、六月二十八日の第一回引率者会議から始まり八月十六日の事後研修会までの約一か月半の中に様々な研修メニューが凝縮されています。

この事業では、行政が企画する内容と中学生が行う国際交流の実践を効率的に行うことが重要なポイントになるため、引率する先生方の指導助言は大変重要なものになってきます。そのた

め、第一回目の事前研修会が始まる前の引率者会議において、綿密な打ち合わせと引率職員の意思疎通が今後の研修の成否につながるものでした。

六月十四日第一回目の事前研修会が行われ、2015おにぎり大使のメインテーマを「おにぎり魂」、サブテーマを「刻め、我らの最高の軌跡を」に決定し、今年度は、これまで培った研修内容と前年の反省等を踏まえ、初の試みとして、学校訪問で米の炊飯からおにぎりづくり、文化交流として南中ソーランの披露というこの二点に絞ったことにより、集中しておにぎりづくりと南中ソーランの練習そして英語研修に励めました。

七月二十九日夕刻、成田を旅立った飛行機は、約九時間のフライトを経て翌朝シドニー空港に降り立ち、団員たちは、長時間の飛行にもかかわらず一様に元気で、異国の地に感激を覚え高揚を隠せない中シドニー市内の見学に出発。シドニーは晴天に恵まれオペラハウス、セントメアリー大聖堂など歴史的建造物を散策しました。

翌朝、いよいよダルウィッチハイスクールへの学校訪問です。校長先生をはじめとする生徒達の合奏の歓迎を受



▲団長と校長先生のプレゼント交換

け、セレモニー及び文化交流などが始まり、今年が初めてとなる。

学校での米の炊飯からおにぎりづくりも各班に分かれ、おにぎりの作り方を

を教えながら和気あいあいの中おにぎりが出来上がり、ダルウィッチの生徒や先生方がおいしそうに食べている様子がうかがえました。南中ソーランも、これまで室内で行っていたものが、交流会最後のイベントとして広い中庭で行われ、練習を重ねてきた成果を十二分に披露し大変満足のできるものでした。

団員は、おにぎりづくり、文化交流を通してダルウィッチのバディと英語そして身振り手振りを交えながら楽しく交流を行い、最後は、全員で記念写真を撮り、バスまで見送られながら別れを告げいよいよホームステイ先の御家族と対面します。

ホームステイする地域はシドニー市内から北に約二十七キロにあるノースナラビン地区近郊になります。海岸にあるサーフライフセイビングクラブでホストファミリーと対面し、期待に胸を膨らませて二泊三日のホームステイが始まりました。

現地研修五日目、この日はホームス



▲ダルウィッチハイスクールでのおにぎりづくり

ティを終えた団員とホストファミリーとのさよならパーティがあり、思い出に胸を詰まらせて感涙する団員の姿も見受けられました。三日ぶりの団員は、目の輝きと表情豊かな面持ちでそれぞれに変化が見受けられ、非常に貴重な体験を得てきたものと思われれます。

翌日、シドニータワー・タロンガ動物園の見学やショッピングを済ませ、平成二十七年のおにぎり大使は、その役割と使命を十分に果たし、夕刻シドニー空港から帰国の途に就きました。

最後に、本事業実施にあたり、御支援御協力をお寄せいただきました皆様と無事おにぎり大使引率の役割を果たされた先生方に感謝と御礼を申し上げます。報告といた



▲南太平洋をバックにさよならパーティで披露した南中ソーラン

「おにぎり大使 派遣事業を終えて」



石巻市立河北中学校
教諭 平塚 輝

平成二十七年おにぎり大使派遣事業は所期の目的を達成することができ、無事に終了することができた。石巻地区二十三校から三十二名、引率六名の合計三十八名の大移動だったが、それぞれが貴重で大切な経験をした七日間だったと思う。

六月十四日の第一回事前研修会では、初めて会う人達ばかりなのでお互いが挨拶はするものの、どこかぎこちない感じが漂っていました。しかし、回を重ねるうちに、会話も弾み、打ち解けていく様子がはつきりと感じ取れました。いろいろな決定事項の話合いでは、どの生徒も積極的に参加し、さすが各校の代表だと感じさせられました。お互いが協力して現地での研修や文化交流の準備を行いました。一人一人が個性を発揮して、学び合い、高め

合いながら活動したからこそ、現地での研修が滞りなくできたものと確信します。

オーストラリアに到着した二日目と六日目にはシドニー市内の観光をしました。見学した場所は、ミセス・マツコリーズポイント、オペラハウス、ハーバーブリッジ、ロックス地区、セントメアリーズ大聖堂、オーストラリアミュージアム、シドニータワー、タロング動物園など、代表的なシドニー観光の名所を巡り、その成り立ち、歴史、文化を感じ、素晴らしさに触れることができました。また、現地で通訳をしていただいたミカコさんには、通訳だけに限らず、日本とオーストラリアの食生活や文化などの違いを丁寧に教えていただき、ありがとうございました。

生活様式の違いにカルチャーショックを覚えたこともありました。ダルウィッチハイスクールでは日本の中学校や高校との違いに驚いた面がありました。特に驚いたのは、肌の色、思想、宗教などに違いがあるにも関わらず、そして、多種多様な国の出身なのに、一つ屋根の下で勉学に励んでいることです。日本だと一つの民族だけなのに、国際化の必要性を考えさせられる一面でした。校庭で体育の授業を

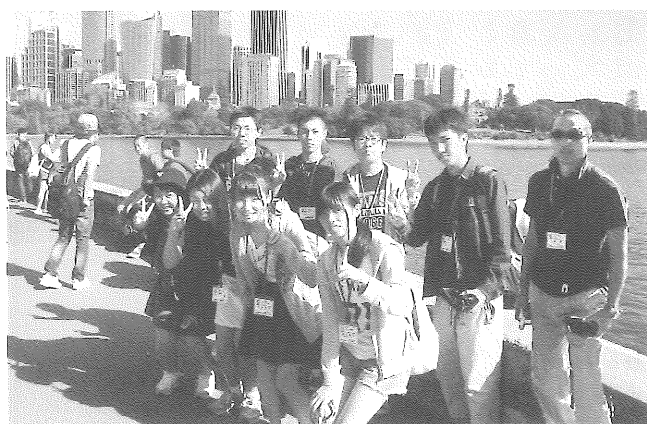
参観しましたが、先生がブーツに、普段着で授業をしているのには驚きでした。所変われば・・・というところでしょうか。昼食はハイスクールの生方と会食をしました。あちらの先生方は気さくに英語でいろいろなことを話し掛けてくれました。しかし、私はその半分も理解できず、「あゝ、はい」を繰り返すこともしばしば・・・。もつと英語を使えば、もつと人のことを理解し、楽しい時間になるはずだと痛感しました。考えや価値観の違う人達と話すことは、人としての幅を広げることになるし、人生を有意義なものにすると思います。

ホームステイは生徒たちにとってかけがえのない経験になったことでしよう。緊張と不安、そして期待を抱えて始まりましたが、家族の方々と徐々に打ち解け、家族の一員として楽しく過ごせた日々だったことと思います。ある生徒は「もつといたかった。もつと長ければよかったのに。」と言っていました。二泊三日でホストファミリーの温かさや人との繋がり、絆を深め、感じたからの言葉だったと思います。

「百聞は一見にしかず」と言われました。事前研修で様々なことを吸収しましたが、オーストラリアという言葉や

生活習慣が異なる環境で過ごしたことは、生徒たちの生涯において決して忘れないものとなったことでしょうか。

最後になりましたが、この研修の機会を与えてくださいました石巻地区広域行政事務組合の皆様をはじめ、関係者の皆様に深く感謝申し上げます。自身、この経験は異国から日本を見て、その違いに気付き、日本や故郷を再発見する機会でもありました。この貴重な経験を今後にぜひ生かしたいと思えますし、生かさなければならぬと思います。ありがとうございました。



1班集合写真（マッコリーズポイントにて）

第十六回おにぎり大使を 振り返って

石巻中学校 小川 太陽



僕はこの夏、おにぎり大使に参加し多くのことを「考え・学び」時には、「日本との

違い」を感じさせられました。しかし、これは単なる自己満足に過ぎません。僕は、おにぎり大使は外国での素晴らしい体験を多くの人に発信することに意味があると思います。なので石中生に少しでもこの事業に興味をもってもらいたくさんの生徒が自発的に参加を希望するような発表をしたいと思っています。それが、僕を推薦してくださいと思った校長先生をはじめとする石中の先生方や現地で安心して活動できるような事前研修から支えてくださった引率者の皆様、そして、一番はここまで影でお弁当を作ったりしているような面々でサポートしてもらった家族に感謝する方法の一つだと思います。

長いようで短かったこの七日間、これからの学校生活や将来の夢に一歩でも近づくような充実した経験をさせて頂き、本当にありがとうございました。

個人目標	達成度
副班長として班長をしっかりとサポートしてたくさんのお話を聞いてみる	100%
副班長として班長をしっかりとサポートしてたくさんのお話を聞いてみる	副班長として班長をしっかりとサポートしてたくさんのお話を聞いてみる

SIGHTSEE

僕たちは2日目と3日目に市内観光に行きました。僕が一番楽しみにしていたのは多羅山動物園です。この動物園には日本に負けないくらい多くの動物がいます。僕たちは最初、ロビーで乗車券を買って園内をぐるりと見回し、たくさんの動物を見ました。日本では学ばない動物もたくさんいました。

DULLWICH

僕たちは1日目にダウルウィッチの作品を見てきました。その作品は、とてもおもしろいと思いました。僕たちは、その作品について話し合いました。また、その作品の制作過程についても話を聞きました。とても勉強になりました。



HOMESTAY in Graeme

僕たちはホームステイをしました。そのホームステイは、とてもおもしろい経験でした。僕たちは、そのホームステイを通して、日本の文化や生活について学びました。また、そのホームステイを通して、日本人と外国人との交流もできました。とても貴重な経験でした。

おにぎり大使派遣事業に参加して

女川中学校 高橋 杏斗



私がおにぎり大使に参加して、感じたことそれはもちろん日本とオーストラリアの文化

の違い、ネイティブな英語のことですが、それ以上に仲間とのコミュニケーション、助け合いがいかに重要であるかを感じる事ができました。班活動では班のみんなと、ホームステイ先ではもう一人の友達とです。特にホームステイでは、分からない事を補い合う事ができてとても良かったなと思います。

他に印象に残ったことは、ダルウィッチハイスクールで行った様々な活動です。まさかスポーツまでするとは思いませんでした。お昼休みには、バテイとその仲間達とても楽しい時間を過ごさせていただきました。一番最後に行った南中ソーランではとてもうまくいき、観ている生徒達も喜んでいたので最高の結果になりました。

他にも色々な事を学びました。おにぎり大使派遣事業に参加できて良かったです。

個人目標

自分の将来につながる経験をする。

達成度

オーストラリアでの活動全てが将来につながるような経験でした。

Australian report



ファミリー紹介

父親... Graemeさん
スポーツ観戦が好きで私達と一番多く行動を共にしてくれました。
母親... Christinaさん
良い意味で厳しく、元気なお母さんでした。
長女(左)... Lauraさん
色々な話を私達にしてくれました。おもしろかったです。
次女(右)... Melissaさん
とても面倒見がいいお姉さんという感じです。

感想

1日目... 朝からおにぎりを作るとお昼に準備ができておにぎりを作りました。おにぎりを作るのは初めてだったのでおにぎりを作るとお昼に準備ができておにぎりを作りました。おにぎりを作るのは初めてだったのでおにぎりを作りました。おにぎりを作るのは初めてだったのでおにぎりを作りました。

2日目... お父さんと一緒に買い物に行きました。お父さんと一緒に買い物に行きました。お父さんと一緒に買い物に行きました。お父さんと一緒に買い物に行きました。お父さんと一緒に買い物に行きました。

3日目... おにぎりを作るとお昼に準備ができておにぎりを作りました。おにぎりを作るのは初めてだったのでおにぎりを作りました。おにぎりを作るのは初めてだったのでおにぎりを作りました。

オーストラリアでの生活は素晴らしいです。おにぎりを作るのは初めてだったのでおにぎりを作りました。おにぎりを作るのは初めてだったのでおにぎりを作りました。

おにぎり大使派遣事業に参加して

北上中学校 佐藤宇羅良



私が今回この派遣事業で学んだことはたくさんあります。そのひとつが貴重な体験

験でした。中でも一番印象に残っているのは、ホームステイです。おにぎり大使としてオーストラリアに行けると決まってから、ずっと楽しみにしていました。そんな気持ちと同時に自分が今、身に付いている英語力はどのくらい現地を通じるのか不安でした。しかし、いざホームステイをしてみると今まで学習してきた文法や単語で会話がつかないことが多々ありました。会話をするのがとても楽しかったです。しかし、後悔もたくさんあります。その悔しさをバネにもっともっと英語を学習していきたいと思っています。

そして、最後まで一緒に楽しく活動した仲間にはたくさん感謝しています。

本当にありがとうございました。

個人目標 何事にも "トライ" して、楽しむ!! 将来に活かせるような体験は積極的に!!	達成度 100%!!
--	---------------

ONIGIRI DIARY...

Home Stay ~1日目~

学校訪問を終え、海が見えるキレイな所でホストマザーと対面!! 最初はドキドキしたけどとても優しい人でした。家についたときも同じく陽気なホストマザーとだのソフィーと対面しました。お母さんは私たちにオーストラリアの事についてたくさん教えてくれました。そのあと長女のアラナと地元の話たくさんしました。

~2日目~

朝からホストマザーに近所のモールにつれていってもらったたくさん買い物しました。午後からは次男のロンガンのサッカーチームの試合につれていってもらいました。両チームともすごくがんばっていました!! その日のDinnerはおにぎりを作りました。みんなベジタリアンで青菜の揚げかけを食に入ってくれました。

~3日目~

最終日はホストマザーとアラナとおじいさん遠いManlyという街に行ってきました。サーフィンがとても有名で中には冬にもかかかわらず、サーフボードをかついでいる人がちらほらいて驚きました。シヨペンがまたたくさんできて楽しかったです!!

Finally...

おにぎり大使としてオーストラリアに行った一週間はとても貴重な体験でした。

この経験をこれから先たくさん活かしていきたいと思います。



おにぎり大使に参加して

稲井中学校 早川 陽平



私は、このおにぎり大使派遣事業で、たくさんの方とを学びました。一つ目は仲間の

大切さです。私は人見知りで、入ったばかりの時は緊張していましたが、すぐに打ち解けられた気がしてうれしかったです。オーストラリアでは助けてもらえばなしでしたけど、協力しておにぎりを作ったり、ソーラン節を踊ったりする時に、仲間のありがたみをよく感じました。これからも、人との関わりを大切にして生きていきたいです。

二つ目は英語の重要さです。日本で勉強した英語も、あまり使えず、結局YESかNOで終わらせてしまいました。これからは、もっと英語に関心をもち、自ら進んで英語の勉強をしたいです。

この事業で学んだことを将来に生かし、故郷に役立つ大人になりたいです。そして、今回おにぎり大使派遣団の団員に私を選んでいただき、ありがとうございました。

個人目標	達成度
日本の文化をオーストラリアの人達に伝える!	80%

オーストラリア

新聞

稲井中学校 早川 陽平

学校訪問

三日目の朝から、ホテルの朝食を食べて、午前10時にホテルを出発し、ブリスベンまで移動しました。ブリスベンはオーストラリアの南東部にあり、人口は約200万人です。ブリスベンはオーストラリアの主要都市の一つで、美しい自然環境と多様な文化が特徴です。

市内見学1

二日目に、シドニーのオペラハウスを見学しました。オペラハウスは、美しい建築と素晴らしい演奏で知られています。また、シドニーのオペラハウスは、オーストラリアの主要な観光地の一つです。

市内見学2

六日目には、タロンガ動物園に行きました。オーストラリア固有の動物がたくさんいます。私はカンガルーやエミュー、ウォンバットなどを見ました。小さな動物たちもとても可愛かったです。

ホームステイ

ホールの肉を食べて、とてもおいしかったです。また、ホールの肉は、オーストラリアの主要な食料の一つです。また、ホールの肉は、オーストラリアの主要な食料の一つです。

オーストラリアへ

オーストラリアへは、飛行機で約12時間かかります。オーストラリアは、美しい自然環境と多様な文化が特徴です。また、オーストラリアは、オーストラリアの主要な観光地の一つです。

オーストラリアなら

オーストラリアなら、カンガルーの肉がおいしいです。また、オーストラリアは、オーストラリアの主要な観光地の一つです。

カンガルーの肉

カンガルーの肉は、とてもおいしいです。また、オーストラリアは、オーストラリアの主要な観光地の一つです。

ミートパイ

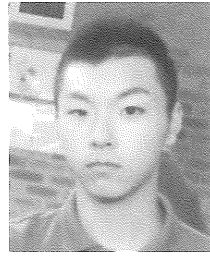
ミートパイは、オーストラリアの主要な食料の一つです。また、オーストラリアは、オーストラリアの主要な観光地の一つです。

Tim Tam

Tim Tamは、オーストラリアの主要な食料の一つです。また、オーストラリアは、オーストラリアの主要な観光地の一つです。

おにぎり大使に参加して

河南東中学校 三浦 正太



今年、私は二〇一五年度おにぎり大使派遣事業に参加して、とても多くのことを知り、

体験して私を成長させてくれました。

まず、海外に行くのも飛行機に乗るのも初めてで不安と緊張がありました。先生方や東武トップアーツの方が丁寧に説明してくれて、とても安心して研修を行えるなと思いました。

現地研修がスタートしてとても印象に残っている活動はホームステイです。今までは、友達と普通に話している日本語がホームステイ中は使えない現実にとっても困りました。でも、言葉が通じなくてもジェスチャーなどを使って伝えることができました。

私は、この貴重な体験を忘れず、私をおにぎり大使に参加させてくれた校長先生や親などに伝えたいと思います。

<p>個人目標 外国の友とたくさん会話をする!! 積極的に行動する。</p>	<p>達成度 85%</p>
--	--------------------

2015, おにぎり大使

市内見学

市内見学では、滞在中心のいろいろなところに行きました。その中でもまず行くのが動物園です。ドニータワーとタロンが動物園で、シドニータワーでは、一番最初に展望台に登り、そこから景色は最高にきれいでした。また、展望台内のショップでパンなしおそろいのTシャツを買いました。タロンが動物園では、班のみんなと行動して、コアラヤカンガルなど動物をたくさん見ました。すごく楽しく一生の思い出になりました。

学校訪問

学校訪問では、行ってすぐの一人にバディがついて学校などの紹介をしてくれました。私のバディは、Simon (三浦トシ) です。ニュートンは、日本語が上手な高校三年生でした。おにぎり作りの際もおにぎりをおいしいと言ってくれました。私たちが行ったダルトンハイスクールの、美術学校で日本語も勉強する人がたくさんいました。

☆ Home Stay ☆

私がホームステイしたお宅は、Mr. Colin (父) Mrs. Everett (母) Mr. Camille (姉) Mr. Nicholas (息子) の4人家族でした。二日目、三日目とも、私たちをストファールドカンリガモールという大規模ショッピングセンターに連れて行ってくれました。私は、おにぎりを作るのを忘れないようにしています。



おにぎり大使派遣事業に 参加して

渡波中学校 佐藤 季星



私は、初めての海外ということもあり、この派遣事業に参加できると決まった時は楽しみにしていました。

みな反面、不安も沢山ありました。しかし、四回の事前研修で団員の皆さんとの結束力も深まり、出発の日にはとてもワクワクしていました。

オーストラリアに着いて、上手く会話出来るか心配でしたが、知っている単語を話し出し話してみると、ホストファミリーは理解をしてくれ、「伝える」ことが大切なんだと教えられました。また、文化交流でのあいさつスピーチもほめていただき、自信になりました。

不安や心配は数多くありましたが、それよりもオーストラリアへ行き、貴重な経験をする事が出来て良かった事です。これからの生活や将来に役立てたいと思います。最後に三十二人の仲間ありがとう!!

個人目標	達成度
班長として班のみんなをまとめ、この研修が将来にたくさん生かせるように、しっかり学んでくる。	100% !!!

ONIGIRI Ambassadors In Australia 2015

☆ Home Stay ☆

Father: Mr. Graham
Mother: Mrs. Wendy Banfield



- 1日目
 - ・ 到着してすぐに森へ連れて行ってもらい、アヒルにパンもあげた。
 - ・ おみやげで日本の夏をイメージしたモニュメントが「Beautiful!!」と絶賛でした。
- 2日目
 - ・ おにぎりを朝に作り、「delicious!!」とほめていただいた。
 - ・ 車でビーチに連れて行ってもらい、貝殻を拾った。
- 3日目
 - ・ 朝からホストファミリーの友だちの家に行ってサンドイッチ、カップケーキと一緒に作った。

☆ DULWICH HIGH SCHOOL ☆

○ バディ: Rina (18歳)
チョコレートが大好き!

◎ 文化交流: おにぎり作り
ふりかけのおにぎりを作った。
みんなとても上手だった!
南中ソラニ
バディの人達がとても盛り上げていた。

☆ Sight seeing ☆

- シドニータワー
見渡す市内がとてもきれいで感動した。
- タロニが動物園
コアラがとてもかわいかった♡

☆ 感想 ☆

初めての海外で不安な所もありましたが、たくさんのお話を学んでくる事が出来ました。この経験を学校でしっかりと伝えたいと思います。

おにぎり大使派遣事業に参加して

大須中学校 高橋 美空



私は、今回のおにぎり大使派遣事業を通してたくさんのお話を学びました。

私は、英語を使って話したり、英語でのコミュニケーションが苦手な、外国に行くことはとても不安でした。しかし、事前研修でしっかりと勉強したかがあることで、上手に伝えることはできなかったけど、自分でしっかりと、単語などを使って、相手に自分が思っていることなどを伝えられたと思います。もっと英語力を上げていきたいです。

オーストラリアに行くと、感じた事は、私たちに関わってくれた全ての現地の方々には、とても優しく、良い方ばかりなんだなと思いました。ホームステイ先の方々も、本当の家族のように、私たちを受け入れてくれたり、話しかけてくれたりして感謝の言葉しか出てきません。初めは海外でとても不安でしたが、またオーストラリアに行きたいです。

個人目標

英語を使ってきちんと話す。

達成度

100%。

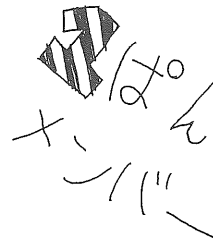
DULWIL HIGH SCHOOL

DULWIL HIGH SCHOOLでは、パーティとモトに行動をしました。

まず始めに、学校へ着くと、オーストラリア特有の『モーニングティ』を初体験しました。モーニングティでは、ジュースと自分が好きなおかしを選んで、校庭などに来て食べるというものです。

その後は、今年から入った、おにぎり作りをしました。学生さんの『笑顔』と『おいしい』という言葉がいたるところで、とてもうれしかったです。

AUSTRALIA



- 佐藤 季星 ○
- 小川 太陽 ○
- 高橋 美空 ○
- 高橋 杏斗 ○
- 阿部 芹香 ○
- 早川 陽平 ○
- 佐藤 守羅 ○
- 三浦 正太 ○

ホームステイでは...

初めてのホームステイで、とても不安だった私に『おかし』、ホストファミリーの皆さんが『優しい笑顔』で迎えてくれて、とても安心しました。

おにぎりをつくらず、昨日、外国の言葉は、『おかし』に抵抗があるというので、『おかし』の抵抗もなく『おいしい』と言って食べてくれて、とてもうれしかったです。また、おにぎりを食べ、終わった後は『Thank You』という言葉が『おにぎりをつくらず、よかった』という気持ちになりました。

ホストファミリーの皆さんは、本当に優しく、色々な所へ連れて行ってもらいました。おにぎりパーティーには、ホストファミリーは来なかったのでも、『おかし』、おにぎりを作ると、やっぱり悲しかったのでも、もし機会があればオーストラリアへ行って、おにぎりと一緒に会いたいです。



「おにぎり大使 派遣事業を終えて」



石巻市立住吉中学校
教諭 岡山 ルミ

ことも多々ありました。しかし、生徒たちは、そのような場面でも動じることなく、臨機応変に対応していました。言語が通じない相手にでも、学んだ英語を駆使して身振り手振りで思いを伝えようとすれば、必ず相手伝わるのだということを実感できたのではないかと思います。

現地研修で一番印象的だったのは、

ホームステイから戻ってきた生徒たちの変容ぶりです。表情が見違えるほど明るく、充実感で満ち溢れていました。目を輝かせながら三日間の出来事を話してくれ、本当に楽しかったのだということが手に取るように伝わってきました。たった三日間という短い期間で、人はこんなにも変わることができるのだと実感した瞬間でした。また、シドニー市内の見学では、目にする建造物や風景、動物などすべてに圧倒され、オーストラリアの素晴らしさに感動しました。

過去におにぎり大使派遣事業に参加した団員の現在の様子を綴った資料を読ませていただきました。目を通してみると、回答した方々が、一〇〇%の

確率で「参加してよかった」と答えています。中学生という多感な時期にこのような体験をすることが、彼らのその後の生き方に大きな影響を与えており、この事業のすばらしさを再認識しました。

帰りのバスの中では、一週間を振り返って感じたことを全員が発表し、思いを共有しました。オーストラリアの文化、生活様式の違い、仲間との絆など、すべてが生徒たちの財産になったはずです。そして改めて感じた日本のすばらしさ……。この研修に参加することができたことに感謝し、それらをこれからの自分の将来に繋げてほしいと願わずにはいられません。

私自身、このお話をいただいた当初は、当日を迎えるまでの準備や体調面などを考えると不安な事の方が多くありました。しかし、現地研修を終えた今、この事業に携わることができて良かったと感じています。様々な経験を通して感じたこと、得たことを、今後の教員人生に生かしていきたいと強く思っています。

このような貴重な機会を与えてくだ

六月に本研修がスタートして、三十二人の生徒たちと顔を合わせました。結団式では一人一人の意気込みを聞き、いよいよスタートするのだから、身の引き締まる思いでした。四回の事前研修での生徒たちの活動ぶりは素晴らしい、各自が持ち味を発揮しながら積極的に研修にあたっており、私自身も志を高くもって指導にあたることができました。英語研修やおにぎり作り、南中ソーランなど、十分な時間をかけて事前研修を行いました。特に英語に関しては、入国審査やショッピング、ホームステイなど、様々な場面を想定して準備をしていきました。しかし、現地に行ってみると、練習通りにはいかないこと、予期せぬ事態に遭遇する



▲2班集体写真(マッコリーズポイントにて)

さった、石巻広域行政事務組合の皆様をはじめ、関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

おにぎり大使派遣事業に 参加して

湊中学校 伊藤 陸



今回のおにぎり

大使派遣事業は、
自分を大きく成長
させることができ
た経験でした。

オーストラリアでの五日間の経験は、初
めてのことが多くありました。

外国でのホームステイは今回が初めてで
した。英語での会話はとても緊張しました。
自分が言ったことが合ってたのかなど心配
でしたが伝わってよかったです。そし
て、ホストファミリーからの質問も最初は
何度も聞き返していましたが、何回も聞く
うちに慣れてきて聞き返さなくても答えら
れるようになりました。

最後に、この事業に参加し良い経験に
なったので、これからの自分の進路に役立
てていきたいと思えます。一週間という日
数の中で貴重な体験をいくつもさせていた
だき感謝の気持ちでいっぱいです。本当に
ありがとうございました。

個人目標 オーストラリアで の経験が 今後の 進路に 役立つ こと	達成度 100%
---	-------------



☆ ホストファミリー ☆
父・Robbie
母・Katie
兄・Toby
妹・Abby
ペット
犬・1匹
猫・7羽

HOMESTAY

△ 1日目 △
朝食は、シリアルでした。その後、アビーのサッカーの試合を見に行きました。途中で兄のトビーとトビーの友達が集まりました。サッカーの試合終了した後、買い物に行きました。大きなハンバーガーを食べました。

△ 2日目 △
朝食は、スクランブルエッグの朝食でした。朝食を食べた後、海へ行きました。砂浜で兄のトビーとフットボールをしました。

△ 3日目 △
朝食は、スクランブルエッグの朝食でした。朝食を食べた後、海へ行きました。砂浜で兄のトビーとフットボールをしました。

△ 感想 △
今回が初めてだったホームステイでトラブることがなかったので良かったです。

おにぎり大使派遣事業に 参加して

矢本第二中学校 加藤 雄介



僕はおにぎり大使に決まってから不安な気持ちでいっぱいでした。しかし、事前研修

を重ねるうちに、他の中学校の人とも仲良くなり、オーストラリアに行くのがとても楽しみになってきました。そこからの一週間は本当にあつという間でした。シドニー市内の古い歴史的な建物や、百年前に建てられたレンガ造りの家など、日本にはないオーストラリアの文化にとっても驚きました。

ホームステイでは、異国の文化に触れ、さまざまな体験をすると同時に、日本の文化のすばらしさを改めて感じることができました。

そしてなにより、日本語がまったく通じない中で、外国人と話すことにより、自分の英語力を上げることができたと思います。

この一週間は僕は大きく成長させ、すばらしい思い出となりました。このおにぎり大使派遣事業に参加できて本当に良かったです。

個人目標

いつでも多くのことを学んで、
これからの生活にいかしていく

達成度

オーストラリアではたくさんのお話を
学ぶことができた。

行き

七月二十九日オーストラリアに向けて出発しました。行きはバスは、ほとんどの人が映画を見たり寝たりしてあまりうるさくありませんでした。飛行機でもみんな寝ていました。

シドニー観光

僕はシドニーで様々な所を観光してきました。一日目のシドニー観光ではオペラハウスやハーバーブリック、ジャズ、オーストラリアミュージアムなどに参りました。その後は、お土産を買って、ホテルにチェックインして、部屋に荷物を置いて、夕食を食べました。二日目は、ビーチに行きました。三日目は、ビーチに行きました。四日目は、ビーチに行きました。五日目は、ビーチに行きました。六日目は、ビーチに行きました。七日目は、ビーチに行きました。八日目は、ビーチに行きました。九日目は、ビーチに行きました。十日目は、ビーチに行きました。十一日目は、ビーチに行きました。十二日目は、ビーチに行きました。十三日目は、ビーチに行きました。十四日目は、ビーチに行きました。十五日目は、ビーチに行きました。十六日目は、ビーチに行きました。十七日目は、ビーチに行きました。十八日目は、ビーチに行きました。十九日目は、ビーチに行きました。二十日目は、ビーチに行きました。二十一日目は、ビーチに行きました。二十二日目は、ビーチに行きました。二十三日目は、ビーチに行きました。二十四日目は、ビーチに行きました。二十五日目は、ビーチに行きました。二十六日目は、ビーチに行きました。二十七日目は、ビーチに行きました。二十八日目は、ビーチに行きました。二十九日目は、ビーチに行きました。三十日目は、ビーチに行きました。三十一日目は、ビーチに行きました。三十二日目は、ビーチに行きました。三十三日目は、ビーチに行きました。三十四日目は、ビーチに行きました。三十五日目は、ビーチに行きました。三十六日目は、ビーチに行きました。三十七日目は、ビーチに行きました。三十八日目は、ビーチに行きました。三十九日目は、ビーチに行きました。四十日目は、ビーチに行きました。四十一日目は、ビーチに行きました。四十二日目は、ビーチに行きました。四十三日目は、ビーチに行きました。四十四日目は、ビーチに行きました。四十五日目は、ビーチに行きました。四十六日目は、ビーチに行きました。四十七日目は、ビーチに行きました。四十八日目は、ビーチに行きました。四十九日目は、ビーチに行きました。五十日目は、ビーチに行きました。五十一日目は、ビーチに行きました。五十二日目は、ビーチに行きました。五十三日目は、ビーチに行きました。五十四日目は、ビーチに行きました。五十五日目は、ビーチに行きました。五十六日目は、ビーチに行きました。五十七日目は、ビーチに行きました。五十八日目は、ビーチに行きました。五十九日目は、ビーチに行きました。六十日目は、ビーチに行きました。六十一日目は、ビーチに行きました。六十二日目は、ビーチに行きました。六十三日目は、ビーチに行きました。六十四日目は、ビーチに行きました。六十五日目は、ビーチに行きました。六十六日目は、ビーチに行きました。六十七日目は、ビーチに行きました。六十八日目は、ビーチに行きました。六十九日目は、ビーチに行きました。七十日目は、ビーチに行きました。七十一日目は、ビーチに行きました。七十二日目は、ビーチに行きました。七十三日目は、ビーチに行きました。七十四日目は、ビーチに行きました。七十五日目は、ビーチに行きました。七十六日目は、ビーチに行きました。七十七日目は、ビーチに行きました。七十八日目は、ビーチに行きました。七十九日目は、ビーチに行きました。八十日目は、ビーチに行きました。八十一日目は、ビーチに行きました。八十二日目は、ビーチに行きました。八十三日目は、ビーチに行きました。八十四日目は、ビーチに行きました。八十五日目は、ビーチに行きました。八十六日目は、ビーチに行きました。八十七日目は、ビーチに行きました。八十八日目は、ビーチに行きました。八十九日目は、ビーチに行きました。九十日目は、ビーチに行きました。九十一日目は、ビーチに行きました。九十二日目は、ビーチに行きました。九十三日目は、ビーチに行きました。九十四日目は、ビーチに行きました。九十五日目は、ビーチに行きました。九十六日目は、ビーチに行きました。九十七日目は、ビーチに行きました。九十八日目は、ビーチに行きました。九十九日目は、ビーチに行きました。百日目は、ビーチに行きました。

ホームステイ

僕は四人家族の家に泊りました。お母さんと姉のアドバイスが、とてもおもしろかったです。

二日目は、ビーチに行きました。三日目は、ビーチに行きました。四日目は、ビーチに行きました。五日目は、ビーチに行きました。六日目は、ビーチに行きました。七日目は、ビーチに行きました。八日目は、ビーチに行きました。九日目は、ビーチに行きました。十日目は、ビーチに行きました。十一日目は、ビーチに行きました。十二日目は、ビーチに行きました。十三日目は、ビーチに行きました。十四日目は、ビーチに行きました。十五日目は、ビーチに行きました。十六日目は、ビーチに行きました。十七日目は、ビーチに行きました。十八日目は、ビーチに行きました。十九日目は、ビーチに行きました。二十日目は、ビーチに行きました。二十一日目は、ビーチに行きました。二十二日目は、ビーチに行きました。二十三日目は、ビーチに行きました。二十四日目は、ビーチに行きました。二十五日目は、ビーチに行きました。二十六日目は、ビーチに行きました。二十七日目は、ビーチに行きました。二十八日目は、ビーチに行きました。二十九日目は、ビーチに行きました。三十日目は、ビーチに行きました。三十一日目は、ビーチに行きました。三十二日目は、ビーチに行きました。三十三日目は、ビーチに行きました。三十四日目は、ビーチに行きました。三十五日目は、ビーチに行きました。三十六日目は、ビーチに行きました。三十七日目は、ビーチに行きました。三十八日目は、ビーチに行きました。三十九日目は、ビーチに行きました。四十日目は、ビーチに行きました。四十一日目は、ビーチに行きました。四十二日目は、ビーチに行きました。四十三日目は、ビーチに行きました。四十四日目は、ビーチに行きました。四十五日目は、ビーチに行きました。四十六日目は、ビーチに行きました。四十七日目は、ビーチに行きました。四十八日目は、ビーチに行きました。四十九日目は、ビーチに行きました。五十日目は、ビーチに行きました。五十一日目は、ビーチに行きました。五十二日目は、ビーチに行きました。五十三日目は、ビーチに行きました。五十四日目は、ビーチに行きました。五十五日目は、ビーチに行きました。五十六日目は、ビーチに行きました。五十七日目は、ビーチに行きました。五十八日目は、ビーチに行きました。五十九日目は、ビーチに行きました。六十日目は、ビーチに行きました。六十一日目は、ビーチに行きました。六十二日目は、ビーチに行きました。六十三日目は、ビーチに行きました。六十四日目は、ビーチに行きました。六十五日目は、ビーチに行きました。六十六日目は、ビーチに行きました。六十七日目は、ビーチに行きました。六十八日目は、ビーチに行きました。六十九日目は、ビーチに行きました。七十日目は、ビーチに行きました。七十一日目は、ビーチに行きました。七十二日目は、ビーチに行きました。七十三日目は、ビーチに行きました。七十四日目は、ビーチに行きました。七十五日目は、ビーチに行きました。七十六日目は、ビーチに行きました。七十七日目は、ビーチに行きました。七十八日目は、ビーチに行きました。七十九日目は、ビーチに行きました。八十日目は、ビーチに行きました。八十一日目は、ビーチに行きました。八十二日目は、ビーチに行きました。八十三日目は、ビーチに行きました。八十四日目は、ビーチに行きました。八十五日目は、ビーチに行きました。八十六日目は、ビーチに行きました。八十七日目は、ビーチに行きました。八十八日目は、ビーチに行きました。八十九日目は、ビーチに行きました。九十日目は、ビーチに行きました。九十一日目は、ビーチに行きました。九十二日目は、ビーチに行きました。九十三日目は、ビーチに行きました。九十四日目は、ビーチに行きました。九十五日目は、ビーチに行きました。九十六日目は、ビーチに行きました。九十七日目は、ビーチに行きました。九十八日目は、ビーチに行きました。九十九日目は、ビーチに行きました。百日目は、ビーチに行きました。

うおにぎりを作りました。のりをはけ、こう巻いてみました。

帰り

帰りは、お土産を買って、飛行機で帰りました。バスでは、みんなの笑顔が、とてもおもしろかったです。お土産を買って、飛行機で帰りました。バスでは、みんなの笑顔が、とてもおもしろかったです。

父: Robert
最後まで
親身な
見守り

母: Kate
料理が上手で
明るく優しい



息子: Toby
ラグビーが好きで
ゲームも好き

娘: Abby
ミニオンズが好きで
ダンスも好き

おにぎり大使派遣事業に 参加して

万石浦中学校 成澤 沙恵



おにぎり大使として過ごした一週間は、とても濃い有意義なものとなりました。

特に、多くの人達と触れ合えたことが、一番印象に残っています。初めは、うまく自分の思いが伝わらず苦しい思いをしました。ですが、バディやホストファミリーがとても熱心に聞いてくれたおかげで、ジェスチャーを交えつつなんとか自分の思いを伝えることができました。おにぎり作りも無事成功し、とても喜んでもらえました。外国人は、「海苔が嫌い？」という話もありましたが、とてもおいしそうに食べてくれました。

今回の派遣事業を通して、コミュニケーションの重要性、そして自ら伝えようとする気持ちの大切さを身をもって学ぶことができました。最後に、このような機会を与えてくださった先生方や両親、支えてくださった多くの方々に感謝します。有り難うございました。

個人目標

石巻の代表として 相応しい行動を心がけ、国境を越えた広い国際性を身につける!

達成度

不足
...73% (残り27%は文化(日本の)を伝えきれなかったのと表現理解)

Best Onigiri Ambassador 2015



Father: Mick (父)
とても優しく、おもしろい!

Mather: Jennifer (母)
皆を包みこみ様な優しさでいていつも笑顔

Daughter: Liberty (妹)
サッカーと絵が上手でフレンドリー



Australia

新聞

万石浦
中学校
成澤沙恵

Homestay

Day 1 初めは「何から話そう...」「お土産喜んでくれるか」など不安な面もありましたが一緒に食事して話しているのが楽しくなりました。

Day 2 早朝からの満面の笑顔それだけで楽しく幸せでした。Libertyのサッカーを観に行ったり...夜には、おにぎり持て、友人宅へBBQ。その子とダンスしたりゲームしたりとても最高の一日でした。

Day 3 日曜礼拝へついていき、その後は母とビーチ巡りのドライブへ... ついにやってきました別れの時。1人1人にあてた手紙を感謝を込め渡しました。そして、別れと再会を願い第二の家を後にしました。

Dulwich High School

a.m. バディのTimonaと初対面!! 背が高い!というのが第一印象でした。気候や学校のこと、好きなスポーツなど色々なことを話しました。おにぎり作りも一緒に行い「ウマイム」と言ってもらえました。

p.m. 昼食は中庭でとり、食後にはアイスを食べました。その後は、日本語を学ぶグループ教室へ行き、日本語と英語を交えつつ趣味などの会話から、好きな食べ物などを加えた自己紹介をして、皆で最後は写真を撮りました。

おにぎり大使派遣事業に 参加して

矢本第一中学校 関 留莉加



おにぎり大使派遣事業を終えた今、私は、たくさんの事が学べたという実感でいっぱいです。

特に私の印象に残っているのは、ホームステイです。外国の方と寝食共に過ごすということは初めてのことで、胸を躍らせていました。一日中、見たことのない景色に感動したり、初めての体験に興奮したり、有意義な時間を過ごすことができました。また、言葉が分からなかったり、伝えたいことが伝わらないこともあったけど、「理解したい」「伝えたい」という強い意志を持てば、完璧な言葉がなくても理解し合えることが分かりました。

こんな貴重な体験ができたのも、支えてくださった方々のおかげなので、とても感謝しています。また、この体験を多くの人に伝え、自分の将来にも生かしていきたいです。

個人目標	積極的に現地の人とたくさんコミュニケーションをとり、英語力を高める!	達成度	自ら進んでコミュニケーションをとり、今まで学習した英語を上手に活用できた!
------	------------------------------------	-----	---------------------------------------

ONIGIRI AMBASSADOR

HOME STAY

Host Family

- Father → Mr. Mick
とっても面白くて優しい
最高のカメラマン📷
- Mother → Mrs. Jenny
優しくて料理上手♡
美トビスタイル抜群👗
- Son → Lincoln
残念ながらサッカーの合宿のため不在
- Daughter → Liberty
明るく活発なサッカー少女🏆
ソリが良い!!

< Day 1 > Mickがお迎えに来てくれました。温かい笑顔で迎入れてくれて本当に嬉しかったです。
< Day 2 > 午前中は Liberty のサッカーの応援に行きました。正午には、ショッピングに連れて行ってもらい、それらのピンチに行き写真をたくさん撮ってしまいました。午後はもう家族の家とBBQをしました。たくさんのお友達の市と触れ合えた1日でした。
< Day 3 > 午前中に教会に行きお祈りしました。ライブお祝いと驚きました。そしてお別れのときがやってきました。思わず涙を流していました。思い出深い3日間になりました。

I had a good time



DORL WICH HIGH SCHOOL
私達は3日目に学校訪問をしました。私のバディは明るくて、絵が上手な人でした。プレゼントで、リップとおかしをもりました。おまじり、似顔絵を書いてもらったり、ハンドボールで遊んでくれました!!
たくさん、交流できて、とても良い経験になりました。

Sight seeing
私達は観光で、オペラハウスやセントメアリーズ大聖堂、動物園などに行きました。オーストラリアの海はとっても透き通っていて、綺麗でした。建物や作られた物が多く、とてもおもしろかったです。動物園ではゴキウを見ることができました。とても嬉しかったです。

最後に... この貴重な体験から、より多くのことを学ぶことができました。このような体験ができたのも、支えてくださった家族、先生方、行政事務組合のみなさんのおかげなので、これからは、このたくさん感謝の気持ちを行動で示して、伝えていきたいと思っています。本当にありがとうございました!!



おにぎり大使派遣事業を 終えて

山下中学校 伊藤 大喜



今回のおにぎり

大使派遣事業は、私にとって何事にも代え難いとても貴重な体験となりました。

ました。研修を重ねるたびに、三十二名の仲間との友情が深まり、そして引率してくださった先生方、この派遣事業を支えてくださったみなさんと関わったことは、一生忘れることのできない大切な思い出になりました。

私の中で、最も印象に残っているのは、三日間のホームステイです。特に心配はなかったのですが、実際に話してみると伝わらないことも沢山あり大変でしたが、ジェスチャーなどをまじえながら話すや伝わるようになり、ファミリーと打ちとけることができました。ホストファミリーには、ビーチに連れて行ってもらったり、息子さんのサッカーの試合に連れて行ってもらう充実した日々を過ごすことができました。今回、このような機会を与えて下さったみなさん本当にありがとうございます。この派遣事業で学んだことをこれからの将来に生かしていこうと思います。

個人目標

誰よりも積極的に行動し、パワーアップして帰国する!

達成度

自分から交流できました。そして、パワーアップして帰国することができました。



ONIGIRI AMBASSADOR



Dulwich Highschool & Sight Seeing

第3言語で日本語を話せる生徒さんもいました。学校で自由な事が多く、意外にもここで文化の違いを感じました。そして、美術や体育の授業を楽しくできました。

オペラハウスが3つの建物だったことに驚きました。都会なのに緑が多く、うらやましく思った。タロンガ動物園では、沢山の動物をみる事が出来た。

Home Stay

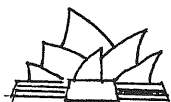
マザーが迎えてくれた。お父さん、息子、娘の4人家族だった。犬も一匹居た。サッカーを観に行ったり、ビーチに行ったり、毎日充実した日々を過ごすことができました。



Shopping

物価がとて高かった。ユーロが約500円、買う気になれませんでした。グミなどはとても美味しかったです。おかしは安く、お土産に沢山買って帰りました。

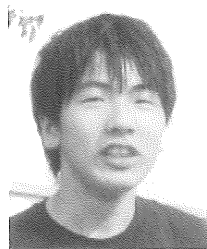
感想



今回の研修でたくさんを学びました。そして色々な場面で"日本との違いを味わうことが出来ました。学んだことを皆に伝え、そして将来に生かしていこうと思います。

おにぎり大使派遣事業に参加して

牡鹿中学校 阿部 健人



私がおにぎり大使派遣事業で印象に残ったことは、三つあります。

一つ目は、飛行機でのことです。どんな機内食なのかすごく楽しみにしていましたが、思ったよりおいしくなくて残念でした。

フライトアテンダントの方とのやりとりは緊張しましたが、ジェスチャーをまじえて、スムーズに会話することができ、よかったです。

二つ目は、ホームステイです。行く前はどんな人たちなのか少し心配でしたが、いざ行ってみると、家族全員がとても優しく接してくれてうれしかったです。子どもは男の子と女の子がいて、テレビゲームやトランプをして遊びました。言葉が通じなくて困った時もありましたが、だんだん慣れて楽しく過ごすことができました。

三つ目は、南中ソーランです。始めたばかりの頃は、なかなか覚えられず苦労しましたが、練習を重ねるうちに覚えることができました。本番では自分なりに一生懸命おどることができたのでよかったです。

<p>個人目標</p> <p>ソーランを一生懸命おどる</p>	<p>達成度</p> <p>100%</p>
---------------------------------	------------------------

学校訪問



学校訪問に行つてバディと対話し、自己紹介などをしました。そして班でおにぎり作りをしました。バディとコミュニケーションをとるなかで、楽しみな雰囲気を作ることができました。作り終わってからハンドボールをやりました。すごく楽しかったです。そしてソーランをおどりました。一生懸命におどることができて目標を達成することができました。

ホームステイ



ホームステイではホームステイの子どもたちとゲームをしました。すごく楽しかったです。あとは、サッカー観戦をしました。その後、ビーチに行きました。すごく海がキレイだったです。お別れパーティーでホームステイのフアガー、スガールとごはんを食べました。すごくおいしかったです。そしてフアガーとスガールにさようならという別れをしました。

市内見学



市内見学では、オーストラリアならではのきれいな景色や建物、ビーチなどを見学しました。地形が日本とは違い、少しおもしろかったです。そして動物園に行つて日本にはいない珍しい動物をたくさん見ることができました。

料理三銃



HOME STARS!



私達は父と母、息子と娘の四人家族の家庭にホームステイしました。

初めは、「何から話そう」「お土産喜んでくれるかなど不安でしたが、家族皆温かい笑顔で迎え入れてくれて、本当に嬉しかったです。

2日目は「beeyのオサノの応援に行きました。夜には、手作りおにぎり」を持って友人宅へお泊りに行きました。その子達と近所の子と一緒にゲームしたり、ダンスしたりと仲間が深まりました。たくさんの方と触れ合えた一日でした。

最終日は早朝より日曜礼拝へ。

教会はぼくなくで、中でサッカーなどもしました。その後は母とビーチ巡りのドライブへ。

そして別れの時が...二人二人に宛てた手紙を感謝をこめて渡しました。

今回のホームステイを通して、コミュニケーションの重要性、そして自ら伝えようとする気持ちの大切さを学びました。(成澤沙恵)

H27.8.16
 伊藤 大喜 成澤沙恵
 加藤 雄介 武田美咲
 伊藤 陸 三浦 桜
 阿部 健人 関 留莉加
 岡山ルミ先生

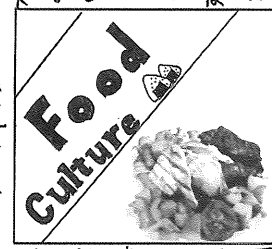
7日間は、忘れられない最高の思い出になりました。2年最高へ。



学校訪問 DUNDEE HIGH SCHOOL

研修三日目、私達はガールウィッチハイスクールを訪れました。文化交流では、英語やビジネスチャートを説明しながら一緒に楽しくおにぎりを作りました。

オーストラリアの食べ物には全黄金比率があって、それはおいしい体的にありしかたです。特に肉はおいしいです。お肉がおいしいのかたのは、厚みがあって食べごたえが、あまり食べません。あつよかったです。オーストラリアではお米は食べないで、じゃがいもや、にんじんなどの野菜をいっしょに食べました。他にも、ベジマイトというものが残りました。独特のにおいで、舌に残る面白い味でした。バターとベジマイトのかたのでよかったです。(雄介)



オーストラリアの食事は量が多くて毎日満腹でしたがとてもおいしかったです。(雄介)

市内見学

私達は二日目、六日目の市内見学をしました。二日目はミセス・コリアーが、セント・パウルス教会に行きました。その後オーストラリアの歴史や文化について学びました。その後は、自分たちで考えた課題を、先生からアドバイスをもらって、自分たちで発表しました。

四日目は、セント・パウルス教会に行きました。この教会は、1847年に建てられました。その後は、市内を見学しました。その後は、自分たちで考えた課題を、先生からアドバイスをもらって、自分たちで発表しました。

この学校訪問では日本の文化を伝えられたし、オーストラリアの学校について知ることができたので、私達にとっても有意義な時間となりました。

編集後記

この新聞を制作して、オーストラリアでの生活から得た思い出や、自分たちの成長を、先生や家族に伝えたいと思います。この新聞は、自分たちの成長の証として、大切に保管してください。

「おにぎり大使 派遣事業を終えて」



石巻市立蛇田中学校
教諭 西條 知恵

おにぎり大使派遣事業の引率が決まり、私は自分自身が体験したホームステイのことを思い出しました。大学時代にアメリカでホームステイをした体験は、私にとって生涯忘れられない貴重な体験となりました。英語教師になるという夢を叶えることができたのも、アメリカでの体験があったからだと思います。中学生の時点で、そのような体験ができる団員たちはとても恵まれていると思うと同時に、事前の準備をしっかり行い、この貴重な機会を最大限に生かしてほしいと思います。

四回の事前研修では、英語研修、炊飯実習、南中ソーランの練習、オーストラリアの情報収集などを行いました。充実した研修となりました。研修を重

ねるごとに団員同士の交流が深まり、楽しく会話をしている姿を微笑ましく思いました。私は、英語研修の担当としてやるべきことはたくさんありましたが、主に入国審査、ホームステイ、買い物などの場面で使用する英語を練習したり、日本文化の紹介、おにぎりの作り方を英語で説明することに挑戦したりしました。語彙力に加え大切なことは英語を話そうとする気持ち。あとは団員の頑張りをお願いばかりでした。

そしていよいよ現地研修のスタートです。入国審査はあまり難しい質問をされずやや拍子抜けしてしまいました。が、第一関門突破です。冬のシドニーは、思った以上に肌寒く、到着した日の朝は風が冷たく感じられました。団員にとって見るものすべてが新鮮で感動の連続だったことと思います。特に、初日に訪れたハーバードブリッジやオペラハウスの絶景は生涯忘れることはないでしょう。

学校訪問では、例年と違ってバディと一緒におにぎり作りを行いました。英語で説明するのはなかなか難しいのですが、実際に作りながら一生懸命伝

えようとしている姿が印象的でした。おにぎりは好評で、おかわりをして食べている子もいたほどでした。また、練習の成果を発揮して披露した南中ソーランも大成功でとても良い文化交流となりました。私自身も現地の先生方とお話をするなど、観光では味わうことのできない貴重な体験をさせていただきました。

この研修の中で生徒に大きな変化が見られたのは、やはりホームステイを終えた時でした。キラキラと目を輝かせながらホームステイでの体験を語る姿や自信に満ちた表情から、ホストファミリーと充実した時間を過ごすことができたのだと確信しました。また、何より自然と英語を発話するようになっていたのには驚きました。

団員たちは、内容の濃いとても充実した日々をシドニーで過ごし、本当にすばらしい体験ができたと思います。また、かけがえのない仲間と出会い、絆を深めることができました。このことは一生の宝物となるはずですよ。

私自身も勉強する機会を与えていただいたことを大変うれしく思います。最後になりますが、この研修をお世

話してくださった関係者の方々に深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



▲3班集合写真（マッコリーズポイントにて）

おにぎり大使派遣事業を 終えて

渡波中学校 阿部 沙織



私は、実際にオーストラリアに行つて、自分の英語が通じたことがとても嬉しかったです。

です。特にホームステイの時はとても不安でしたが、ホストファミリーの皆さんは私の話にきちんと耳を傾けてくれました。私もジェスチャーを交え、ゆっくりとでしたが何とか英語で話すことができました。

また、学校訪問のときの代表挨拶では、バディや他の生徒が「上手だったよ。」と声を掛けてくれて、とても嬉しかったです。でも、外国の人にきちんと自分の意見を伝えるには、まだまだ不十分だと感じました。話しに相槌を打つのが精一杯で、なかなか自分のことを話せませんでした。これからも英語の力を伸ばすため、英語の語彙を増やして、今回のようなチャンスにまた挑戦したいです。そして、たくさんの国で日本のことをもっと伝えられるようになります。

個人目標

班長として時間などの管理に気をつけながら、班全員で楽しむ！

達成度

達成できました!!!
最高に楽しかったです!

ONIGIRI AMBASSADOR

— 2015/7/29 - 8/4 —

HOME STAY

7/31
ビーチがとっても近いお家だったので、夜に皆とビーチでブルームーンを見ました!

8/1
大きなモールに行つて、ショッピングをしました。可愛いお店を案内してもらいました♡夜につくったおにぎりも巻き寿司が好評でした。

★ HOST FAMILY ★

父 Michael
母 Vanessa
兄(11) Jett
妹(6) Scarlett

美人で人気者!
バディのLala

8/2
ア午登山をしました...。疲れたけど、頂上からはすごく綺麗な海が見られて感動しました...! お別れするのはとても悲しかったです...

SIGHT SEEING

☆ BONDY BEACH ☆
☆ SYDNEY OPERA HOUSE ☆
☆ TARONGA ZOO ☆

7日間ずっと晴れでした♪
カンガルーの耳のわんぱくちゃんやサンガラスをつけて、誰よりも楽しんできました!!!

DULWICH HIGH SCHOOL

自由でのびのびとした雰囲気のある学校でした。バディのララは日本人とのハーフ(!)で、日本語がとても上手でした。おにぎりもソーラン節も、すごく喜んでくれて嬉しかったです。

シドニーでは、わくわくしゃべりなしの1週間を過ごせました! 実際には外国を肌で感じてみて得たものは、とても大きかったと思います。この経験を大切にして、生かしていけたらいいなと思います!!!

おにぎり大使派遣事業に

参加して

河北中学校 伊藤 千夏




私は、オーストラリアへ行く前は現地の人達と英語で会話をしなければならぬことに

不安を感じていました。でも、学校訪問やホームステイをしてみると、オーストラリアの皆さんは陽気でもとても優しく、緊張していた私もすっかり受け答えをしようと思いい、積極的にコミュニケーションをとることができました。言葉が通じなかったり、理解できなかったりした時も多くあったので、これから英語をもっと勉強して、受け答えだけでなく自分から話せるようになりたいと思いました。また、今回の研修で外国の文化を学び、仲間との絆をより深めることができました。初めての体験で分からないこともありました。それを乗り越えたことで少し成長できたと思います。最後に、私達にこのような貴重な機会を与え、皆さんのサポートをしてくださいました全ての皆さんに感謝したいです。本当にありがとうございます。

<p>個人目標 オーストラリアの文化と英語を学び、日本の伝統を伝えて皆で楽しむ!</p>	<p>達成度 😊 たくさんのことを学べた良楽しい研修になりました。皆ととても楽しく過ごしました!</p>
---	---

ホームステイ



父: Michael (マイケル)
母: Vanessa (ヴァネッサ) 
息子: Jett (ジェット)
娘: Scarlett (スカーレット)

Dulwich High School

私のバディはクラウディアさんという15才の「ラーメンみたいな髪」の女の子。同い年とは思えないくらい大人っぽく日本語がとっても上手だった。一緒にランチを食べたりオーストラリアのゲームで遊んだりして楽しかった。南中ソーランを踊った後にはすごく良かったと喜んでくれてうれしかった。

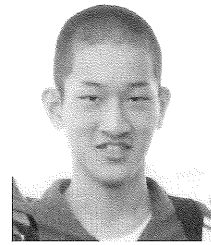
<1日目>日本でホストファミリーが変更になったと聞いて心配な面もあったが、ホストマザーが笑顔で歓迎してくれた。夜に今日は月がきれいだからと家の目の前にあるビーチに連れていってくれた。とても美しいブルームーンを見ることができた。
<2日目>午前ホストマザーとスカーレットと一緒にショッピングに行った。スカーレットがすごくオシャレだった。午後おにぎりとのり巻きをスカーレットと作った。夕食にホストファミリーの友人を招いてホームパーティーをした。のり巻きがおいしいと予想以上に好評でうれしかった。
<3日目>美しいビーチに連れていってもらった。そこでイルカを見ることができた。近くの岩だらけの丘に登るのは疲れたが、頂上からのビーチのながめは絶景だった。
このホームステイは最高の思い出となった。本当に楽しかった!

市内観光

ホンダイビーチやオペラハウス、シドニータワーなど景色がとってもきれいだと思った。セントメアリーズ大聖堂はお城みたいでした。オーストラリア博物館には大きな動物の骨格や恐竜があってすごいと思った。夕ロン動物園ではコアラがとってもかわかった。園内は広くて道に迷ったが、たくさんの動物を間近で見ることができて楽しかった。♪

おにぎり大使を終えて

住吉中学校 杉山 晴也



今、僕はこのおにぎり大使派遣事業に参加して本当によかったとおもっています。そしてこの事業で自分は成長できたと思いま

す。成長点の一つ目は、言語が通じない所でジェスチャーや単語を並べて話す体験ができ、表現力がついたと思います。

二つ目は、自分達だけでホームステイをしたことによって、伝わるかどうかかわからない言葉を使う勇氣がつかしました。

この事業に参加してやっぱり言語の壁はとて高いなと感じました。自分が言いたいことは何とか単語をつなげて伝えられたけれど、相手の言っていることがまったくわからず大変でした。でもその度に相手と親切にゆっくりと英語を発音してくれました。ジェスチャーまでつけてくれ、理解することができたので良かったです。

この事業で学んだことをこれからの人生に役立てていきたいと思っています。

<p>個人目標 日本と違う文化を学び、英語を学んで自分の視野を広げる。</p>	<p>達成度 50%</p>
---	--------------------

オーストラリアの思い出

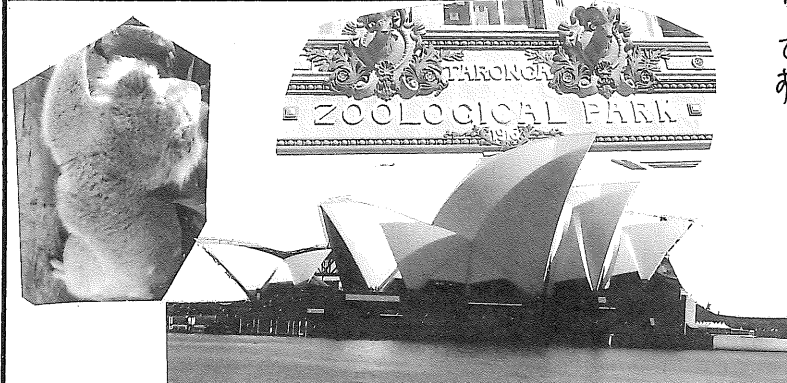
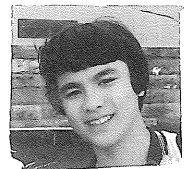
父 → Matthew 兄 → Jack
母 → Amanda 弟 → Kai
叔父 → Magic 叔母 → Jam



ホームステイのファミリーの名前は上の通りです。初日は夜にササを注文して食べて、後は自由時間にしてきました。お母さんは日本よりおもしろいと思っていました。お父さんは日本よりおもしろいと思っていました。お兄さんは日本よりおもしろいと思っていました。お弟さんは日本よりおもしろいと思っていました。お叔父さんは日本よりおもしろいと思っていました。お叔母さんは日本よりおもしろいと思っていました。

ホームステイ

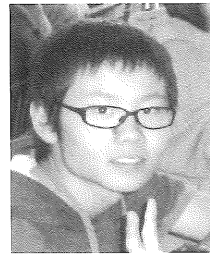
Dulwich High School 学校訪問
学校訪問でヒゴとバネを組みました。最初は何を話していたのかとまじって話していましたが、自分も分かる単語を並べて話せばたのびました。学校はとて新鮮で楽しいです。



市内観光
市内観光で一番思い出に残っているのはオペラハウスのタラマ動物園です。オペラハウスは海毛空毛青く白さかきあだつていてとてもきれいでした。タラマ動物園は初生コアラを初めて見たのでとても感動しました。

おにぎり大使派遣事業を 終えて

河南東中学校 高橋 拓磨



私は今回のおにぎり大使派遣事業に参加し、日本の生活では分からないことを、オーストラリアで肌で感じ、学ぶことができました。

学校訪問やホームステイなど、オーストラリアの人々との交流の時、私はきちんと話せるだろうか、気持ちを伝えられるだろうかと不安で緊張していました。しかし、みんながフレンドリーに接してくれたので、不安はすぐになくなりました。

今回の体験は、今後の英語の勉強や、自分の将来の夢など、さまざまなことに一歩踏み出すことができる、とても貴重な経験になりました。私はこの大切な思い出を一生忘れません。

そして、このような経験ができたのも、支えてくれたたくさんの方がいたからです。引率してくれた方々、学校の先生方、家族、そして事前研修から共に行動した仲間。支えてくれたすべての方々に感謝したいです。

本当にありがとうございました。

個人目標	達成度
副班長としてグループをサポートし、支えてくれている人への感謝を忘れずに行動する!	副班長をし、カリワポートで、感謝の心も忘れずに行動することができた!

Onigiri Ambassador in AUSTRALIA 2015

河南東 高橋拓磨

★ Sightseeing ★

やはり景色が一番すごかった!! 高台からの眺望は息をのむほど圧力的で、とても美しかった!!

★ DULWICH HIGH SCHOOL ★

文化交流のおにぎり作りでは、自分よりもハチのロニの方が作るのが上手でビックリ!!
ロニは日本のアニメが好きで、自分の知らないアニメも知っていました。学校の図書室には日本のマンガが本がたくさん置いてありました。ソーラン節はちょっとミスしてしまっただけ、みんなからかこよかったと言われたのでよかったです!!

★ Impressions ★

この一週間で、本当にたくさんのお話を学ぶことができました。支えてくれたみなさん、本当にありがとうございました!!

★ Home Stay ★

基本的にフリータイムが多かった!! 特におにぎりがないときは、Wiiをやりました(笑)
気温差で体調を崩し、熱を出してしまっただけ、いい思い出です(笑)
おにぎりは大好評で、ツナおにぎりはカイがとっても気に入ってくれました!!
Mr. マシューとMrs. アマンダに渡したお土産(はんこ)は、とても喜んでくれたのでよかったです!!
2泊3日はあっという間に過ぎたように感じました。

おにぎり大使派遣事業に

参加して

青葉中学校 石井 文乃



今回のおにぎり

大使派遣事業に参加して、どうだったかと問われた時、私は胸を張って、最高の仲間達と過ごしたかけがえのない七日間だったと答えます。

私は今回、積極的にチャレンジする心をもつことを目標にして研修に取り組みました。初めてのことでただ不安もありましたが、まずはやってみようという心持ちのおかげで数々の貴重な体験をすることができました。特に、ホームステイをした三日間は、何とか相手に自分の思いを伝えようと、拙い英語ながらも積極的にコミュニケーションをとることが出来たので、大きな自信となりました。

この研修で、私は将来英語を使う仕事に就きたいという夢を見つけることができました。こんなに実りのある研修になったのは、支えて下さった人が沢山いたからだと思っています。一人一人の方に、本当に感謝しています。

個人目標

積極的に学びたいので、
沢山の交流フレンドがある！

達成度

とても満足の内容の研修だった
自信をもった言葉がある。

ONIGIRI

AOBA 石井文乃

~ Home stay ~

Day 1

迎えてくれたお家の人達に
お土産を渡してあげた！
お家の人達と一緒に
おしゃべりした。

Day 2

沢山の交流フレンドと
おしゃべりした！
お家の人達と
おしゃべりした。
お家の人達と
おしゃべりした。

Day 3

沢山の交流フレンドと
おしゃべりした！
お家の人達と
おしゃべりした。
お家の人達と
おしゃべりした。

Thank you!!!

沢山の交流フレンドと
おしゃべりした！
お家の人達と
おしゃべりした。
お家の人達と
おしゃべりした。

AMBASSADOR

IO AUG

おにぎり大使派遣事業を 終えて

矢本第二中学校 針生 愛理



おにぎり大使派遣事業を通して、私は多くのことを学びました。

まずは文化についてです。ダルウィッチ・ハイスクールやホームステイ先で、オーストラリアの文化や習慣を教えてもらい、日本と同じところや違いを発見しました。実際に海外に足を運んで、文化の違いを肌で感じられ、とても良い経験になりました。

私は特に学んだ事は英語です。英語を勉強して準備万端で行ったつもりが、いざ現地に行ってみると、緊張や不安でいっぱい、なかなか使えませんでした。「もっと使えたのになあ。」などと後悔の気持ちをもちました。私は将来、英語にたずさわる仕事をしたいと考えているので、後悔の気持ちをなくせるように必死に勉強していきます、英語を完璧に話せるようになりたいと思います。

今回この事業で体験したことや学んだことを、将来に生かしていきたいと思っています。

個人目標	達成度
異国の文化を直接肌で感じ視野を広げ自信を磨く	95%。自分を磨く面でまだまだのところが...

学校訪問 in DULWICH HIGH SCHOOL ☆

学校訪問で私たちはダルウィッチハイスクールを訪れました。バディと一緒に校内を回ったり、授業に参加したりしました。文化交流では、おにぎり作りとソーランをがんばりました。どちらも大好評でした！それから、バディと一緒に現地で流行っている「ウーボール」やハンドボールをして遊びました。学校訪問では、日本の学校との違いがとて多かったです。でも、すごく有意義で楽しかった活動でした！

スリッパ
夜の海へ
電子ピアノの練習場
（家の木造部分）
マーケット
サッカーの試合
サッカーの練習場

HOME STAY ☆

ホームステイでは、まず夜の海に連れて行ってくれました。日が落ちるところだったので、とてもきれいでした。次の日はショッピングやサッカーの試合、ホストファミリーとハンドボールをしました。最終日は、マーケットに行ったり、サッカーの試合を見に行ったりしました。また、おにぎりははじめての体験らしく、おいしいと大好評でした。おにぎり作りは大成功！ホームステイは1番の思い出になりました！！

AUS + MAILIA 新聞



おにぎり大使派遣事業に参加して

女川中学校 岡 海咲



私は今回、普通の中学生ではできないような経験をたくさんする事ができました。海外

に行く事はもちろん、ホームステイや現地の学校に行つて交流したり。その一つ一つが必ず将来に生かせるような貴重な経験でした。

ホームステイで英語が話せなかったり、聞き取れなかったりする時が何度もありました。話したい事は山ほどあるのに、伝えられないのがとても悔しかったです。そんな時、ホストファミリーはゆっくり英語を話してくれました。ホストファミリーの温かさを感じました。

この派遣事業では、地元の人達にもたくさん助けられました。仲間にも助けられた事がとても多かったように思います。そんな仲間に出会えたのもおにぎり大使に参加できたからです。四百字では収まりきれないくらいたくさんさんの思い出がありました。このような貴重な経験をさせていただいた事、本当に感謝しています。

個人目標	達成度
一緒に行くみんなとホストファミリー高校生仲良くなって友達を増やす!!	とても達成できたと思います。自分なりにコミュニケーションも頑張りました。

私が「オーストラリア」でしてきた事。
2015.7/31~8/4

HOME STAY / とても優しいホストマザーとファミリーでした

DAY 1 7/31
とってもハラハラドキドキの対面
ファミリーと一番最初に会いました。
第一印象から優しい感じが
ファミリーで楽しかったです

DAY 2 8/1
シヨ ッピフグに連れてってもらいました
オーストラリアのファミリーをたくさん
見る事ができました!!
その後はフットボールを見ました!カワイイ!

DAY 3 8/2
朝、出店がたくさまでい子所へ
行きました!ファミリーの親戚と
遊んだりして、充実した最終日
でした。サヨナラは悲しい

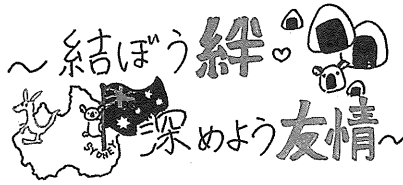
ONIGIRI 2日目の夜!!
おにぎりを作りました。少し時間
が経ってしまいました
よろこんでくれたのが良かったです!!

DULWICH HIGH SCHOOL 7/31

日本とはまったく違って
とても刺激を受けました。
生徒さん達は自分と同じくらいの
歳で、なのにとても大人っぽくて
おどろきました。
お土産は日本の雑誌をあげました。
めずらしかったようで、とても
よろこんでくれました。
ソーランもとても盛り上がり
今後にはいろいろな経験でした。



以心伝心



3班 Cheerful 旅行記 Sydney

- 3班の愉快な仲間達
- | | |
|----------|-------|
| 阿部 沙織 | 高橋 瑞穂 |
| 杉山 晴也 | 熱海 新生 |
| 針生 愛理 | 岡 海咲 |
| 伊藤 千夏 | 石井 文乃 |
| 西條 知恵 先生 | |

HOME STAY

私達がホームステイした家は三人家族で、犬がいて、プールがあるとてもキレイな家でした。親戚の子供が来たりとてもワイワイしたホームステイでした。下の写真は親戚の子供のアイラちゃんです。とても元気なパワフルな子でした。そして私達は二日目の夜におにぎり作りというミツランを果敢しました。あんなに練習したのには実践となると少し時間がかかりました。全てを海苔でつむみではなく、ふりかけだけでつむみ、自分なりに工夫したりしました。おにぎりの具はツナマヨと梅おががのふりがけを使いました。一発懸命作ったので良かった。ホストファミリーは初めは、おにぎりも食べませんでした。驚いていました。日本文化をホストファミリーに伝える事が出来ました。おにぎりの作り方の他にホストファミリーに楽しませたいと思いを込めておにぎりを作りました。二日目は、大きなプールで水泳をしました。プールが満喫出来ました。とても思い出に残る旅行になりました。

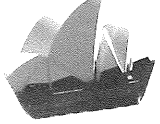


ホームステイ最終日の三日目、マーケットやホテルの試合を見に行きました。マーケットは食べたものが多かったり、ホテルは美味しい料理が食べられたり、とてもよい思い出が、またならぬ思い出を残しました。二人は、おにぎりもたくさん食べて、おにぎりも残ったままです。おにぎり、ホストファミリー！

(岡 海咲・石井 文乃)

目に飛び込んできたものは、圧倒的な景色でした。数億円の一等地にある高台に登りました。展望台からは水平線がの眺め。オペラハウスが見え見えました。スカイツリーよりはるかに高く、空は青く澄み渡り、自然、空は青く澄み渡り、より一層美しく感じました。すこい、と思わず言葉がこぼれました。

満喫！ シドニー観光

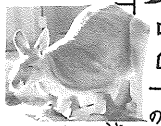


最終日には、オーストラリアで一番高い、シドニータワーに登りました。展望台からは水平線がの眺め、空は青く澄み渡り、自然、空は青く澄み渡り、より一層美しく感じました。すこい、と思わず言葉がこぼれました。

Dulwich HS

研修三日目、ダルウィッチハイスクールを訪問しました。ここでは、バディと一緒に校内をまわったり、授業に参加したりしました。この学生は、私たちが同じくらいの年である大人、扱いやすさにアニメ好きやPOP好き、ラブライバーなど個性豊かな学生がいっぱいで、とても楽しかったです。それから、おにぎり作り、おいしいおにぎりを作りました。また、南アフリカも披露しました。動画を、たり、りりり、の、てくれ、たりして大成功しました!!

タロンガ Zoo



タロンガ動物園を訪問する際には、地図と方位磁針をお忘れなく。(伊藤千夏)

タロンガ動物園はシドニーで一番大きな動物園です。私達の目当ては、やっぱり... コアラ。普段は、日中あまり動かないそうですが、ちょうど食事タイムだったようで、木から木へ飛ぶのが移ったりモグモグと葉を食べている元気の姿を見ることができました。その後に園内を見て回ったのですが、とにかく広い道に迷いながらもたくさん動物を間近で見ることができて本当に楽しかったです。もし、オーストラリア旅行で皆さんがこのタロンガ動物園を訪れる際には、地図と方位磁針をお忘れなく。(伊藤千夏)

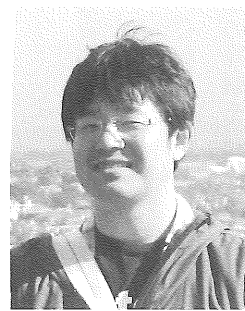
編集後記

私たちが3班は協力しながら、楽しく自分たちで立てた目標を達成することができました。そして私たちはこの研修で気付いたことがあります。それは英語でのコミュニケーションをする時に、日本で学んでいる英語の発音ではうまく伝わりないうえに、おにぎり作り、おいしいおにぎりを作りました。また、南アフリカも披露しました。動画を、たり、りりり、の、てくれ、たりして大成功しました!!

この経験を多くの人に伝えて今後に生かしてきたいと思います。杉山晴也、熱海新生



「おにぎり大使 派遣事業を終えて」



矢本第二中学校
教諭 中鉢 卓志

私は、東日本大震災以降、石巻地区の将来を担う青少年の人材育成に努めたいと強く思うようになりました。石巻地区をより魅力ある地域にするためには、青少年の育成が必要だからです。特に、様々な人々と積極的に関わられる人材が、より魅力ある地域づくりに必要であると考えます。そう考えているときに、おにぎり大使の引率者のお話をいただき、微力ながら石巻地区の青少年の人材育成に携われることを嬉しく思いました。

六月に行われた第一回事前研修会では、団員たちは会話が少なく緊張した表情でした。しかし、研修を重ねるにつれて、徐々に会話が増え、笑顔が見られるようになりました。

私は、「学校訪問」を担当しました。

文化交流で行う「南中ソーラン」は今年で三回目の披露になるため、今まで以上のものにしようと生徒に投げ掛けました。蛇田中学校の蜂谷優友さん、阿部芹香さんが南中ソーランのフォークメーションを考え、団員たちをリードしました。二人のリーダーシップが素晴らしく、少ない練習時間でも南中ソーランおにぎり大使版を仕上げることができました。

ダルウィッチハイスクールの学校訪問では、バディと呼ばれるパートナーとともに終日活動をしました。ウエルカムパーティー後、現地の学校で初めておにぎり作りを行いました。団員たちは、おにぎりの作り方を英語でバディに説明しながら、一緒におにぎりを作りました。おにぎりは、現地の生徒から「Good」「Nice」等の好評を得ました。

おにぎりを食べ終えてからは、バディと話をしたり、チェスやトランプをしたりしていました。このような活動は、現地の生徒と交流することができ、すぐに打ち解けることができましたと感じています。フェアウェルパーティーで披露した、南中ソーランおにぎり大使版も躍動感のある踊りで、大好評

でした。

ホームステイは、団員たちにとって忘れられない経験になりました。三日間のホームステイを終え、フェアウェルパーティーの会場に戻ってきたときの団員たちの表情が、とても生き生きとしていました。ホームステイ中の出来事を楽しそうに話す様子から、貴重な経験であったと思います。英語を話すことに不安を感じていた団員も、積極的に英語を使ってコミュニケーションするようになっていました。

学校訪問やホームステイを通して、団員たちは大きく成長しました。英語でコミュニケーションをとることはもちろんのこと、文化や習慣の違いを理解し、受け入れる姿勢を学んだことと思います。

おにぎり大使の引率者を務めて、自分の価値観が大きく変化したと感じています。日本と異なる文化に触れ、それを理解しようとするうちに、自分の視野を広げることができました。このことは、教師としてだけでなく、一人の人間としても貴重な経験になりました。おにぎり大使の引率者として学んできたことを所属校の生徒達にも還元

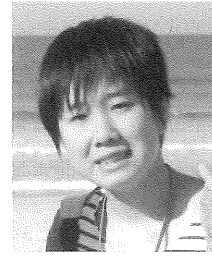
したいと考えています。最後に、このような素晴らしい事業に参加する機会を与えてくださった石巻広域行政事務組合の皆さまをはじめ、関係者の皆さまに感謝申し上げます。微力ながら、石巻地区の将来を担う人材育成に携われたことを嬉しく思います。本当にありがとうございました。



▲4班集体写真（マッコリーズポイントにて）

おにぎり大使派遣事業に参加して

蛇田中学校 蜂谷 優友



おにぎり大使として活動した七日間は、私にとって一番大切な宝物になりました。

最初はあんなに緊張して、冷たくて固い空気が張りつめていましたが、何度かの研修を重ねてみんなと親しくなるにつれて、そんな空気を打ち破り、穏やかで楽しく活動する様になっていきました。

そして、ホームステイ、学校訪問を終え、仲間の大切さ、家族の大切さを考え直すきっかけを得ることができました。

また、石巻市内の代表としてこの事業に参加できたことを誇りに思います。オーストラリアでこのような素晴らしい経験をする機会を与えて下さった先生方や、様々な面で私たちをサポートして下さい下さった方々に、心から感謝しています。

この経験を自分の将来の為に生かして、大切にしていきたいと思えます。

個人目標

オーストラリアの文化、伝統、言語を学び、自分の将来に活かせる経験をする。

達成度 100%!

日本とは異なる文化を学び、自分の将来や蛇田中の生徒会活動に活かせる経験ができた。

ONIGIRI AMBASSADOR in AUSTRALIA.

HOME STAY

- 1日目 (7月31日) ホストマザーとの対面。夕食はカレーライスで、お肉がおいしい。夜は映画を観たり、ホストマザーの方と英語を練習した。
- 2日目 (8月1日) 湖に行き、2島にエサをあげたり、C-子と遊んで、お昼はおにぎりを食べたり。大森川を橋で渡り、喜ぶ声も聞けた。
- 3日目 (8月2日) テラズワッドポイント(エサをあげたり、お魚、山道を歩いたり) = 自然と触れ合ったり。オーストラリアの自然を堪能した。



英語は苦手だったけど、「云々」という時や大事な時に、みんなとしゃべることができた！



車食は、3リットル、10分、昼食は、スロウブレイク、夜はカレーライスを食べた。



オーストラリアの自然は、とても綺麗で、仲良く交流した。



この3日間は、滅多にない経験ができた。貴重な体験ができて、とても楽しかった。ありがとうございました！

VISIT SCHOOL



- (ハナ)ちゃん。
- * 3年前から日本語を学習している。
- * アジア系の子。
- * 丁寧な話し方。
- * ネコが好き。
- * 絵が上手!

連絡先を交換した!

学校訪問では、おにぎりや、アイスロールに行きました。とても自由な校風で、笑顔が絶えず、おにぎりを学校で食べて、日本語が少し通じるので、お互いに単語が交流できました。

SIGHT SEEING

シドニー市内観光では、ボネパード、オーストラリア、セントパトリック大聖堂、シドニー博物館、シドニーオペラハウス、ワロウワロウ動物園などに行了きました。ボネパードの風景は、とても美しく、オーストラリアの自然が満喫できました。動物園では、クワカウと出会えました。シドニーの、優雅な街並みもとても素敵でした。



感想!

おにぎり大使として7日間を終え、私にはとても貴重な経験ができた。英語が話せなくて、最初は緊張していたけど、みんなと仲良く交流することができた。オーストラリアの自然や文化、そして学校訪問もとても楽しかった。この経験を大切にしたい。蛇田中学校の生徒会活動に生かして、自分の将来のために活かしていきたい。

おにぎり大使派遣事業に参加して

鳴瀬未来中学校 櫻井 梓



私は、多くのことを学び、自分自身が大きく成長することができました。個人目標は「コ

ミュニケーションをとり、英語力を高める」でしたが、考えていた以上にコミュニケーションをとることは難しいなど感じました。相手の言葉がよく分からない私はホームステイ先で何をしたらいいのか不安でたまりませんでした。しかし、ホストマザーがとても優しく、分からない時は辞書を持ってきて丁寧に教えてくれたり、今までならできないことは諦めていましたが、必ず「チャレンジ」しなさいと笑顔で背中を押してくれたりしました。自分の思いや言葉が伝わったときは本当に感動しました。日本の伝統、おにぎりの良さを伝えることも不安でしたが、自信をもっておにぎりを作ることができました。「おいしい」と言って食べてもらえたので達成感がありました。私はこの研修に参加することができて本当に良かったと思いました。

個人目標 コミュニケーションをとり、英語力を高める。	達成度 95%
-------------------------------	------------

ONIGIRI AMBASSADOR

鳴瀬未来中学校 櫻井 梓

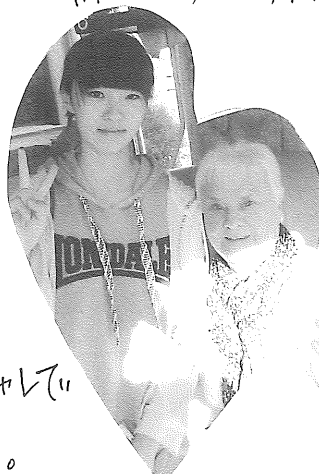

HOME STAY

NAME... サニー

Hodson家にホームステイをした!! おしせさんといくつかの鳥が好きなおおあちゃんがお世話してくれました。2日目はいろいろな所を連れて行ってくださいました。おにぎり作りもした。とても喜んでくれました。夜にはDVDや、WiFiを3日間、本当に楽しかったです。

Sight seeing

最終日に行った動物園がすごく楽しかった。ウォンゴンがかわいかった。歩くのがいやになった...

DULWICH HIGH SCHOOL

私のバディはアンジーというとてもオチカレでかわいい子でした。テニスコートが綺麗で正直びっくりしました。絵を描いたリベンジもしました。とても楽しい時間でした。笑

感想

とてもいい経験となった。たくさんのお話を学ぶことができた。この研修で学んだことを将来に生かせるように頑張りたい。

判王のメンバー

4クラスどのクラスにも負けず個性豊かな人がたくさんいました。笑 最初は仲良くなれなかったけど、おにぎりを通して仲良くなれた。

おにぎり大使派遣事業に 参加して

飯野川中学校 大久保清藏



今回、私はおにぎり大使派遣事業に参加でき、とても幸せでした。しかし、初めて海外

に行く私にとって不安な部分もありました。

特に、ホームステイにおいて英語できると会話できるか心配でした。

しかし、ホームステイ先の夫婦の方々がとても親しく接してくれて、自分達が話している時も目を見て真剣に聞いて下さいました。私たちは、とても楽しい時間を過ごすことができました。

また、一緒におにぎりを握った時に色々な場面で手伝って頂き、ファミリーの優しさを心から感じる事ができました。

今回の事業でたとえ言語が違っていても気持ちを込めて話せば思いは伝わる事が分かりました。このことを今後の人生に生かしたいと思います。一緒に支え合った団員の皆さん、先生方、本当にありがとうございました。

個人目標	達成度
自分たちだけびなく、現地の人たちの心にも残る研修にする	90% (バディやファミリーと仲良くなれた)

ONIGIRI AMBASSADOR

HOME STAY

In Australia

感想

ホームステイの3日間、とても楽しかったです。僕にとって初めてのホームステイでしたがファミリーが優しく、会話をはずみしました。おにぎりを作る時の説明も上手にできました。この経験を日本の友人などに伝え、今回の研修を活かしたいと思います。

妻: Lourdes 夫: Harry

1日目: ホストファミリーと対面。とても優しくな人だった。家は豪華でバスルームが2つ付いていた。夜は映画を観た。

2日目: 市内観光をした。ジュースなどをごちそうしてくれた。夕飯におにぎりをにぎった。お父さんは3つも食べてくれた。

3日目: ホームステイ終了。さよならパーティをした。ソーテンが好評だった。ホストファミリーとの最後の食事なので沢山話をした。ファミリー記念写真を撮った。

おにぎり大使派遣事業に 参加して

山下中学校 高平 響



オーストラリア
で過ごした七日間
は、初めて経験す
ることがたくさん
あり、戸惑うこと

もありましたが、毎日がとても充実してい
ました。私が特に心に残っていることは、
ホームステイの三日間と学校訪問をしたこ
とです。

まず、ホームステイでは、習慣や言語の
違いがある中で過ごすということもあり、
最初は緊張していました。でも、どんな時
でも笑顔でいることや、積極的にコミュニ
ケーションをとることを心掛け、三日間を
楽しい思い出にすることができました。次
に、学校訪問では、バディと短い時間では
ありましたが、英語で会話したり、私が日
本の言葉を教えたりして、私にとって忘れ
られない経験になりました。

私は、この派遣事業で多くのことを学び、
成長して、日本に帰ってくるのができま
した。オーストラリアに行くにあたって、
私を支えてくれた家族や先生方、現地で出
会った人々に、今、とても感謝しています。

個人目標

いつでも笑顔でコミュニケーションをとる

達成度

150% かなり達成できました。

ONIGIRI AMBASSADOR 20¹⁵ 3rd Australia 15

ホストファミリー



ホムステイ

- 1日目 ドキドキ♡ファミリーと初対面。夕食を一緒に食べました。
- 2日目 朝は早く、9時起床。昼食におにぎりを作りました。喜んでくれて良かった!! 海岸を散歩して、楽しかったです。
- 3日目 最終日。夕方からさよならパーティーでした。お別れはさみしかったけど!! 感謝の気持ちでいっぱいでした。

感想

この7日間の研修で私は
たくさん学ぶことができ成長
して帰ってきました。
おにぎり大使として、オーストラ
リアに行かせてくれたお父さん、
先生や、お父さん、お母さんに
感謝の気持ちでいっぱいです。

Thank You

Dulwich High School

バディのジエと一緒に楽し
い時間を過ごしました。
日本語があまり分からないと言っ
たので、ジエスカーを入れてか
ら、コミュニケーションをとりました。
お土産も喜んでもらって
良かったです...



おにぎり大使派遣事業に 参加して

桃生中学校 千葉 芹奈



今回のおにぎり大使派遣事業を通して、たくさん英語にふれることができ、とても良い

経験になりました。

私のオーストラリアでの目標は、積極的に行動しオーストラリアについてたくさん学ぶということでした。オーストラリアへ行き、始めは緊張して上手く会話をする事ができませんでした。しかし少しずつ雰囲気慣れ楽しく会話ができました。

私の一番の思い出はホームステイです。日本のことを伝えたいという気持ちで自分から積極的に話すよう心がけました。また、ホストファミリーはいつも「何がしたい?」と聞いてくれました。自分がしたいこと、してほしいことはしっかり相手へ伝えるという力を付けることができたと思います。オーストラリアでの五日間は本当に幸せな時間でした。今回の経験をこれからの自分に役立てていきたいと思っています。

個人目標

自分から積極的に行動し、オーストラリアについてたくさん学んでいきたい。日本の文化を伝えたい!

達成度

積極的に会話をするように心がけました。オーストラリアの魅力をたくさん味わう事が出来ました。

HomeStay

父: Paul 母: Alice 娘: Angela

- ①日目) ホストファミリーと対面。とても温かく迎えてくれました。
- ②日目) おにぎり作りをしました。ホストマザーとホストファザーは炊きたてのご飯をひとくち食べて、「とてもいい香り! 美味しい!」とっていました!! おにぎりは、ツナマヨ、おかつ、鮭などを作りました。「美味しい! 美味しい!」と言って食べてくれたのでとても嬉しかったです。午後からは海へ行きました。透き通るきれいな海水でした! 家には卓球台がありました。夜は卓球をしたりしました。ホストファザーと戦いましたが負けました...。(泣)
- ③日目) 午前中ショッピングへ行きました。食料品が大量に売っていてとても驚きました! さよならパーティーではホストマザーと最後の時間を過ごしました。ホストマザーは南中ソーランを見て、とても喜んでくれました。お別れの時は、とても悲しかったけれどホストマザーが「今度夏に来てね! 私も日本へ行くからね!」と言ってくれたので嬉しかったです。

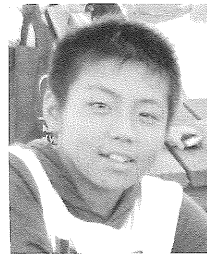
DULWICH HIGH SCHOOL

私のバディはRiriaでした。とても美人な女の子でした!! おにぎりを楽しそうに作ってくれて、とても嬉しかったです。南中ソーランも喜んでくれました!!



おにぎり大使派遣事業に 参加して

荻浜中学校 柳橋 享汰



僕はおにぎり大使に参加してとても良かったです。まず一緒に班の人とは、最初は緊張していたのですが研修を重ねていくにつれて仲良くなれたのですごく嬉しかったです。

次に、オーストラリアへ着いたとき感じたことは風が冷たく、空気が違ったことです。そこでオーストラリアへ来たとき実感しました。市内を見学していても日本と違う風景でとても感動しました。

最後に一番楽しみにしていたホームステイでは、始め、コミュニケーションをとれるか心配でしたが、自分の知っている知識を活用してなんとかできました。ホストファミリーとは、たくさん遊んでたくさん会話していい思い出ができました。

今回のおにぎり大使は、僕にとってとてもいい体験になりました。この体験を忘れずに、今後の生活を頑張りたいと思います。

個人目標	達成度
積極的にコミュニケーションをとる	100%

HOME STAY

オーストラリア新聞

一日目

家に入った瞬間すごく盛大に歓迎してくれました。嬉しかったです。家はオーストラリアだということを感じました。

二日目

カマンドマザーと弟のオリバを紹介してくれました。夜は兄のマヒューとオーストラリアのカードゲームで遊みました。オリバはトマスが大好きで、ずっとトマスで遊んでました。

三日目(最終日)

マザーがショッピングセンターに連れて来てくれました。帰ってから遊んでお土産を買いました。来てくれたお土産をありがとうございました。残念でなかった。南中ソーランを見ました。Very coolと褒めてくれました。

感想

ホームステイの感想は、皆とても良かったです。マザーはあまりかかちてないので、会ってあげていきました。優しい感じがしました。分かったり、嬉しかったり、教えてくれたり、コミュニケーションがとれていきました。

左から三番目が兄のマヒュー

右から三番目が弟のオリバ

おにぎり大使派遣事業に 参加して

矢本第一中学校 鈴木 貴大



僕はこのおにぎり大使派遣事業で多くの事を学び、体験してきました。そして、個人

目標の「英語力の向上」に向かって頑張ってきました。僕はこの体験で一つ大きなことを学ぶことができました。

それは、伝えようと努力することです。ダルウィッチハイスクールではバディと二人で行動しました。最初は会話が弾まず困っていました。そこで僕は今の自分の英語力でたくさん話しかけました。すると相手も次第に話してくるようになり、後半は自然にコミュニケーションをとることもできるようになっていきました。伝えられないことを伝えるように努力する大切さを僕は学ぶことができ、ホームステイにもつながるものとなりました。

この貴重な体験をこれからの生活にも生かし、そして自分の将来の夢にも役立てられるように頑張っていきたいです。

個人目標 ファミリーとたくさん話して英語力を高める!	達成度 100% !!
-------------------------------	----------------

ONIGIRI AMBASSADOR!

ホームステイ!!

In Australia

Day 1	Day 2	Day 3	
<p>ファミリーと朝食はシリヤ 対面! マザールでした。好き 迎えて来てくれな果物をスライ ました。とてもスして食べまし 明るく笑顔が絶た。午前はカラ えない人ででした。ンマにビーチ 家につくと、グシムニーを見 ランマと子どもたせる絶景スホ 達がおかえてくツトに連れて行 れました。兄のつてもらいまし マツヒユはラケた。ビーチはど じいをしていててもきれいで、 体格ががっちりシムニーの景色 していました。は美しく一生の 弟のオリバーは思い出にたりま かわいくてほっした。午後はマ ヤたか乗らかくカーに観光とシ てかわいかったヨツピンかに連 です。そんな明れて行ってモ るい家族との木りました。シャ ームステイ初ツや欲しいもの まりました。家が買えて良かった か大きくてびつたです。夜は日 くりしました。本のおもちやで ディナーでは家一緒に遊がまし 家族と話をしえて。喜んでもち おれ合うことがえて良かったで できました。</p>	<p>最終日は昼食におにぎ りを作りました。マザールと 一緒に米炊き からおにぎり を作りました。 覚えています た。英語で説明 したから作り ました。不安 な気持ちで、 マザールに おにぎりを 作りました。 おにぎりを 作りました。 おにぎりを 作りました。</p>	<p>おにぎりを 作りました。 おにぎりを 作りました。 おにぎりを 作りました。 おにぎりを 作りました。</p>	<p>あつという間だった ホームステイ。明るく元気 な家族と過ごした三日間 はかけがえのないものに なりました。この体験は 自分の将来の夢への大き な一歩になったと思いま す。 本当に楽しく、充実し た日々でした。</p>

Family
父: Brian
母: Katrina
兄: Matthew
弟: Oliver

英雄豪傑

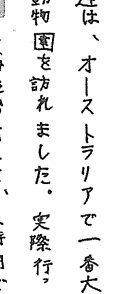
- 4班
- ◎ 蜂谷 優衣 ○ 大久保 清蔵
 - 、 高平 響 、 新田 偉久
 - 、 千葉 芽奈 、 鈴木 貴大
 - 、 櫻井 千葉 、 柳 享汰
- ⑤ 中野 航

DULWICH School

研修二日目学校訪問でダルウィッチハイスクールへ行きました。みんな温かく迎えてくれました。おにぎり作りでは、パディに作り方を教えながら一緒に作りました。説明するのはとても難しかったけれど楽しく作ることができて良かったです。美味しいうどんもいただきました。

HOME STAY

私たちはシドニー周辺のハリリーさんの家にホームステイさせて頂きました。ホストマザーは会社の受付をしていて、料理がとても上手でした。初日の夕飯のポロネーズがとても美味しく、印象に残りました。



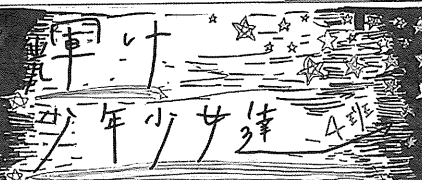
僕達は、オーストラリアで一番大動物園を訪れました。実際行

動物園



てみたが広くて、二時間では回りきれず残念でした。オーストラリア固有の動物であるコアラとカンガルーとワラビーを見ました。特にかわいいと思ったのはコアラです。コアラはいつもユーカリの葉を食べて動かないけど僕達は運がよかったです。動いている姿を見るのができました。とてもかわいらしいと思いました。

Forward!



ホストマザーは電気関係の技術者で、とても温厚な性格でいつも笑顔でした。夫婦は仲が良くいつも手をつないでいて、幸せそうでした。ホームステイ二日目、私たちはおにぎりを作るといふ使命を果たすために夕飯の時、おにぎりを作りました。外国版の炊飯器なので炊くのが難しかったです。おにぎり炊けたので嬉しかったです。ファミリーはツナを左気に入ってくれましたが梅は苦手なまらってしまいました。

シドニー市内に到着したとたん、日本の海と違い、私達はボンダイよりも盛りだくさんで、海辺の砂ビーチに歩き、その後も粗か細かササチラしたビーチラハウス、ハーバリーブリッジなど、シドニーの有名観光スポットに行きました。

SIGHTSEEING

In Sydney
少しの時間で見た風景を楽しんでました。高オハラハウスは、速くリノ比較的要害時期にもかかると、一つの建物にみ

開けられ泳いでいる人や元々が実際は三つの建物サイフンをしてい

てみたが広くて、二時間では回りきれず残念でした。オーストラリア固有の動物であるコアラとカンガルーとワラビーを見ました。特にかわいいと思ったのはコアラです。コアラはいつもユーカリの葉を食べて動かないけど僕達は運がよかったです。動いている姿を見るのができました。とてもかわいらしいと思いました。



この事業で学んだことは、将来に役立つと思うので、これからの学校生活に生かしていきたいと思えます。本当にありがとうございました。

編集後記

おにぎり大使で学んだこと、体験したことは、一生の宝、そして思い出になりました。海外の文化を知り、そして日本の文化を見つめ直すことができました。

△鈴木貴大△

「おにぎり大使 派遣事業に参加して」



石巻地区広域行政事務組合
秋保 祐二

平成二十七年六月十四日、石巻圏域の特産物である米と海苔を使って、日本のソウルフード「おにぎり」を学校訪問、ホームステイを通して異国の地オーストラリア・シドニーに伝えるべく、石巻圏域二市一町から選ばれた中学三年生の三十二名に加え、引率者六名で構成された派遣団「おにぎり大使派遣事業」がいよいよ始まった。事前研修は四回行われ、英語研修やオーストラリアの歴史・文化・生活習慣の学習、学校訪問やホストファミリーに披露する「南中ソーラン」の練習、学校訪問とホームステイ先でおにぎり作りを行うための炊飯実習など、現地での研修に備え準備してきました。

七月三十日の朝、オーストラリアの大地に立った団員達は長時間の飛行機移動による疲労と、これから始まる異

国での体験に期待と不安が入り混じった表情を浮かべていました。バスに揺られシドニー市内最初の見学地ボンダイビーチへ向かい、その後、シドニーハーバーナショナルパーク、ミセスマッコリーズポイント、オペラハウスを見学し、入植時代のシドニーの歴史的面影が残るロックス地区を通り、セントメアリー大聖堂、オーストラリア博物館の見学し、オーストラリアの自然や歴史をしっかりと肌で感じていました。

滞在二日目の学校訪問では、各自ダールウィッチハイスクールのバディと対面し、初めは少し緊張していたものの

積極的に英語でコミュニケーションを図り、すぐに打ち解けた団員達の順応性の高さには驚かされた。

ダールウィッチハイスクールでは初の試みとなる「おにぎり作り」やダールウィッチの授業をバディと一緒に短い時間ではありましたが日本の学校生活では味わうことのできない貴重な体験をし、交流を深めることができたと思います。学校訪問の最後に「南中ソーラン」に披露し、仲良くなったバディとの別れを惜しみながらダールウィッチ校を後にしました。その後、二泊三日で行われるホームステイのホストファミリーとの対面では、照れくさそうな表情で自己紹介している姿が印象的で、夕日に照らされて各ホームステイ先へと出発していきました。

ホームステイから帰ってきた団員達は、素晴らしい笑顔が浮かべまるでホストファミリーの家族のような雰囲気です。とても充実したホームステイを送ってきたことが伺えました。さよならパーティーでは、ホストファミリーへのお礼の意味をこめて「南中ソーラン」を披露した後、南太平洋をバックに全員で記念撮影をして帰りのバスに乗り込むときには、別れを惜しむ団員達の姿が、ホストファミリーと心を通

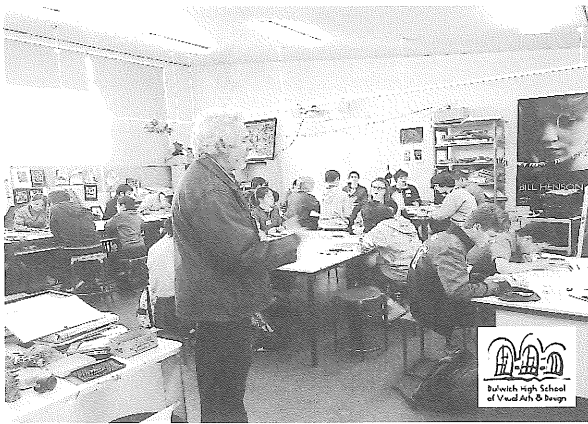


▲タロンガ動物園

わせた素晴らしいホームステイを体験できたことが伝わってきました。

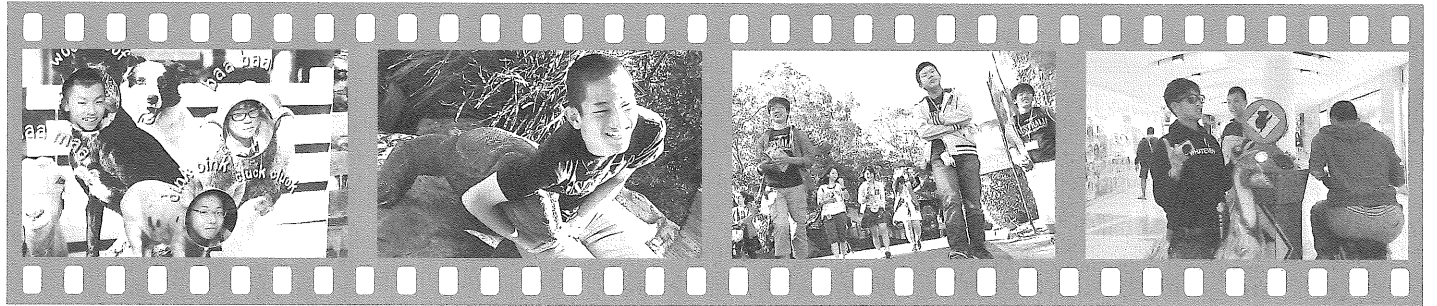
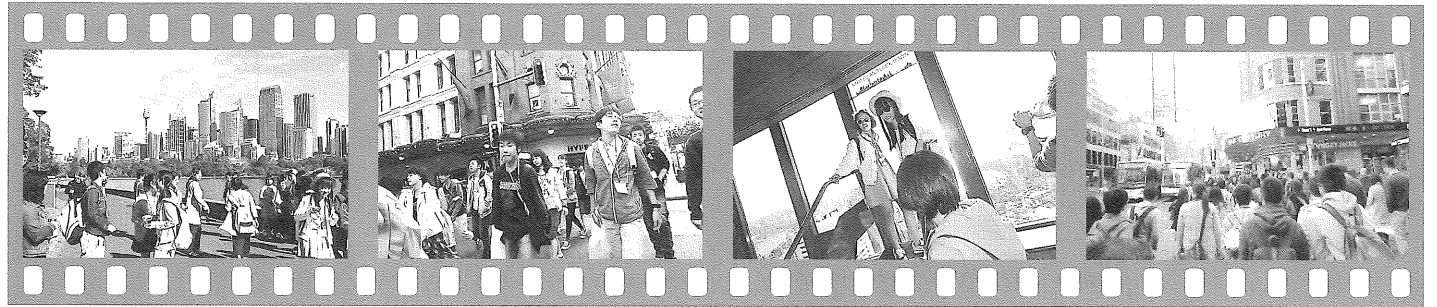
滞在最終日、絶景が見渡せるシドニータワー、広大な敷地のタロンガ動物園等を見学し、帰国を待つ家族や友人に思い思いのお土産を買い、オーストラリアで過ごした充実の五日間、様々な経験と思い出を胸に雄大な大地を後にしました。

四泊五日の短い期間中で、日を追うごとに成長していく団員達の姿には驚きと感動を覚え、団員達も自分の研修テーマを実行し、一歩ずつ成長していく自分を実感することができたことと思います。



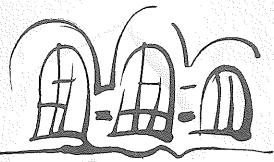
▲ダールウィッチハイスクール授業風景

Sydney 市内見学



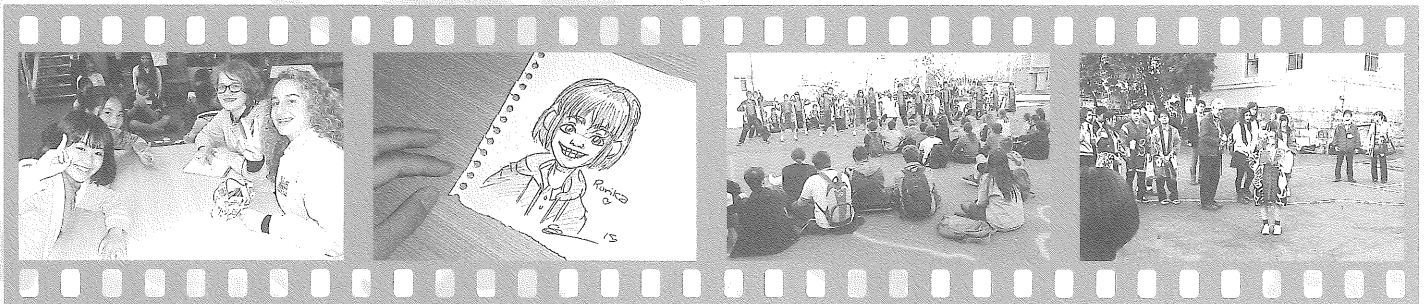
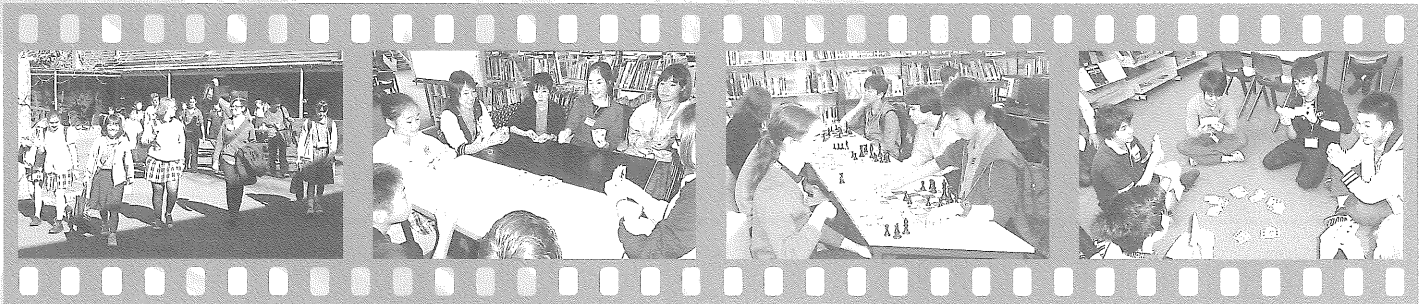
Home Stay





Dulwich High School
of Visual Arts & Design

学校訪問



Dulwich High School
of Visual Arts & Design

**MULTI-PURPOSE
CENTRE**

April 2016 - September 2016

《研修日記》

事前研修について

石巻地区二十三校三十二名の中学生が海外派遣事業をとおして、自国の文化、伝統、産業の紹介と外国の文化及び生活習慣などを学び、体験し、国際交流を図ることで国際化に対応できる人材の育成という目的を達成するために四回にわたる事前研修を行いました。

短い研修期間で自国の文化の良さを再認識し、オーストラリアの文化を吸収し、人とすることがどのくらい広げることができるだろうか、少しでも四回の研修でいろいろなることを整理し、今後の糧となるように準備しなければならぬと考えると、研修を重ねました。

事前研修で行ったことは、テーマづくり、約束事やマナー集や情報資料づくり、文化交流やホストファミリーの家で作るおにぎり実習、学校訪問時の「南中ソーラン」、実践的な英語研修などです。どの研修でも班活動を基本として、互いにアドバイスをし合いながら研修を重ね、オーストラリアでの現地研修の糧となるよう団員が一致団結して取り組みました。

(平塚 輝)

学校訪問【全般】

現地滞在二日目に、ダルウィッチハイスクールを訪問しました。到着後すぐに、「パディ」と呼ばれるパートナーと対面しました。笑顔で握手に応じる生徒や緊張した面持ちで席に着く生徒など、様々でした。

ウエルカムパーティー後、現地の学校において初めてのおにぎり作りを行いました。おにぎりは、現地の生徒だけでなく、先生方からもおいしいと好評でした。

授業体験では、現地の美術と体育の授業を体験しました。美術では、シドニー市内の風景写真を見ながら描いたエアメール作りを、体育の授業では、数種類の球技を組み合わせたゲームを行いました。

昼休みには、パディと学校生活の違いを話したり、現地の生徒達が休み時間に遊んでいる遊びを一緒に遊んだりしており、生徒達はすっかり現地の生徒と打ち解けていました。

フェアウェルパーティーに披露した「南中ソーラン」は練習の成果が表れ、とても好評でした。

学校訪問を通して、生徒達は日本とオーストラリアの学校の違いを体験することができ、大変充実した研修になりました。

(中鉢卓志)

学校訪問【おにぎり作り】

今年度初の試みとなった、ダルウィッチハイスクールでのおにぎり作り。4つのグループに分かれ、1グループ約20人前後で活動がスタートしました。おにぎりの具材は、ツナマヨ、塩、おむすびやまなど4種類ほどでした。はじめは緊張した表情の団員でしたが、徐々に緊張がほぐれ、和やかな雰囲気でも活動していき、おにぎりの作りを苦手とするパディのために確認してからの作りを巻いているグループもありましたが、思いのほか好評で、のりの巻かれたおにぎりをおいしそうにほおばっていました。パディの姿が印象的でした。

現地でもおにぎりは売っていますが、自分で作り、作り立てを食べるといふ経験は、現地の生徒たちにとつては貴重だったのではないかと思います。前例がないため、団員も引率者も不安がありました。が、おにぎり作りを通して、コミュニケーションが深まり、パディとの距離が一層縮まったように感じました。「おにぎり大使」にふさわしい、素晴らしい文化交流だったと思います。

(岡山ルミ)

ホームステイを終えて

学校訪問を終え、いよいよホームステイが始まりました。明るく気さくなホストファミリーたちに迎えられ、期待と

不安を胸にそれぞれの家庭に出掛けて行きました。引率の私たちも、うまくやるだろうかとまるで我が子を送り出す親の気持ちになっていました。でも、ホームステイを終えた団員の表情を見て安心しました。その明るく自信に満ちた表情、ホストファミリーとの別れを惜しむ姿から、ホームステイが充実したものであったことを確信しました。

また、おにぎりを作ったごちそうをするという文化交流もそれぞれ家庭で行うことができました。ホームステイでは、英語が通じた喜びだけでなく、英語がうまく伝わらないもどかしさを感じた人もいます。これが今後英語を勉強する動機につながるならば、それも貴重な機会を与えられたことになりました。いつかホストファミリーと再会する日を夢見て、更に英語の学習を頑張ってほしいと思います。皆さんが世界に羽ばたき活躍することを期待しています。

(西條知恵)

シドニー市内見学

シドニー近郊の見学は、現地研修初日と最終日に行われ、最初に向かったのは、ボンダイブルーと呼ばれる青い海のボンダイビーチです。天気にも恵まれ、長旅の疲れを忘れさせるほど感動的な光景でした。その後、シドニーハーバー



▲平成27年度おにぎり大使引率者 (Sydney Harbour National Parkにて)

ナショナル公園、ミセスマツコリーズポイント、オペラハウス、入植時代のシドニーの歴史的な面影が残るロックス地区を通り、セントメアリア大聖堂、オーストラリア博物館を見学した。

現地滞在最終日には、シドニータワーまで徒歩で移動し、高さ250メートルの展望台から360度に渡って地平線が見渡せる大パナラマの絶景を楽しみ、午後からは、壮麗な眺めを誇る港の沿岸に位置し、青々と茂ったジャングルを思わせる園内を散策しながら、オーストラリア特有のコアラ、カンガルーなどがいるタロンガ動物園を見学した。

団員達は、どの見学地でも初めて味わう感動に、生涯忘れられない素晴らしい思い出になったことと思います。

(秋保祐二)

平成27年度おにぎり大使派遣事業参加者名簿

○ 団 員

番号	学 校 名	学 年	氏 名	班	感想文	備 考
1	石巻市立石巻中学校	3年	小川 太陽	1	P 6	実 行 委 員
2	石巻市立住吉中学校	3年	杉山 晴也	3	P 28	
3	石巻市立門脇中学校	3年	新田 倅久	4	P 38	
4	石巻市立門脇中学校	3年	武田 美咲	2	P 16	
5	石巻市立湊中学校	3年	伊藤 陸	2	P 18	
6	石巻市立蛇田中学校	3年	阿部 芹香	1	P 8	
7	石巻市立蛇田中学校	3年	蜂谷 優友	4	P 36	副実行委員長
8	石巻市立荻浜中学校	3年	柳橋 享汰	4	P 42	
9	石巻市立渡波中学校	3年	阿部 沙織	3	P 26	実 行 委 員
10	石巻市立渡波中学校	3年	佐藤 季星	1	P 12	実 行 委 員
11	石巻市立稲井中学校	3年	早川 陽平	1	P 10	
12	石巻市立山下中学校	3年	伊藤 大喜	2	P 22	実 行 委 員 長
13	石巻市立山下中学校	3年	高平 響	4	P 40	
14	石巻市立青葉中学校	3年	石井 文乃	3	P 31	
15	石巻市立万石浦中学校	3年	成澤 沙恵	2	P 20	実 行 委 員
16	石巻市立飯野川中学校	3年	大久保清藏	4	P 39	実 行 委 員
17	石巻市立河北中学校	3年	伊藤 千夏	3	P 27	
18	石巻市立大須中学校	3年	高橋 美空	1	P 13	
19	石巻市立河南東中学校	3年	三浦 正太	1	P 11	
20	石巻市立河南東中学校	3年	高橋 拓磨	3	P 29	実 行 委 員
21	石巻市立河南西中学校	3年	三浦 桜	2	P 17	
22	石巻市立桃生中学校	3年	千葉 芹奈	4	P 41	
23	石巻市立北上中学校	3年	佐藤宇羅良	1	P 9	
24	石巻市立牡鹿中学校	3年	阿部 健人	2	P 23	
25	東松島市立矢本第一中学校	3年	鈴木 貴大	4	P 43	
26	東松島市立矢本第一中学校	3年	関 留莉加	2	P 21	
27	東松島市立矢本第二中学校	3年	加藤 雄介	2	P 19	
28	東松島市立矢本第二中学校	3年	針生 愛理	3	P 32	
29	東松島市立鳴瀬未来中学校	3年	熱海 新生	3	P 30	
30	東松島市立鳴瀬未来中学校	3年	櫻井 梓	4	P 37	
31	女川町立女川中学校	3年	高橋 杏斗	1	P 7	
32	女川町立女川中学校	3年	岡 海咲	3	P 33	

○ 引 率 者

番号	所 属	職 名	氏 名	班	感想文	備 考
1	石巻地区広域行政事務組合	事務局次長	渡辺 文男	-	P 4	団 長
2	石巻市立河北中学校	教 諭	平塚 輝	1	P 5	
3	石巻市立住吉中学校	教 諭	岡山 ルミ	2	P 15	
4	石巻市立蛇田中学校	教 諭	西條 知恵	3	P 25	
5	東松島市立矢本第二中学校	教 諭	中鉢 卓志	4	P 35	
6	石巻地区広域行政事務組合	課長補佐	秋保 祐二	-	P 45	事 務 局 員

